

# 御前崎市環境報告書 別冊

## エコアクション21

## 環境経営レポート

(活動期間:令和3年4月～令和4年3月)



<浜岡砂丘カワヅザクラ>



# 1 環境経営方針

## 【基本理念】

御前崎市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前埼灯台の建つ岬や遠州灘海岸など自然豊かな環境に恵まれた地です。この自然環境を現在のみならず将来へ良好な状態で引き継いでいけるよう、環境基本計画において4つの基本理念を定めています。

1. 健全で豊かな環境の恵みを受け、良好で快適な環境を将来の世代へ継承する。
2. 自然環境に恵まれた地域特性を生かして自然と人との共生を確保する。
3. 持続的発展が可能な社会を構築する為に、全ての者が公平な役割分担の下で自主的積極的に取り組む。
4. すべての事業活動及び日常生活において地球環境の保全を積極的に推進する。

## 【環境経営方針】

### (1)環境基本計画の着実な推進

御前崎市の望ましい環境イメージである「守ろう 豊かな自然 創ろう 次世代へつなぐまち 御前崎」の実現を目指して、地球環境保全に向けた取組を総合的に推進します。

### (2)環境に配慮した事務事業の推進

二酸化炭素の排出削減及び水道の使用量削減に努めるとともに、3R(Reduce=廃棄物の発生抑制・Reuse=再使用・Recycle=再資源化)やグリーン購入を推進し、地球環境の保全・創造に向け、市民・事業者との協働に取り組めます。

### (3)事務事業の継続的改善と法規制等の遵守の誓約

事務事業の推進にあたっては、計画、実行、点検評価、見直しのPDCAサイクルを繰り返すことで、環境への負荷を低減するとともに、環境関連法令等についても遵守することを誓約します。

### (4)環境経営方針の周知と公表

環境経営方針は全ての職員等に周知するとともに、環境経営レポートを市民にも公表し、環境保全の状況の変化、市民や職員等からの意見、提案の反映に努めます。

平成 24 年 2 月 1 日制定

平成 28 年 4 月 18 日改定

令和 2 年 6 月 1 日改定

令和 3 年 4 月 1 日改定

御前崎市長 柳澤 重夫

## 2 組織の概要

### ○ 市の概要

静岡県御前崎市は、小笠郡浜岡町と榛原郡御前崎町の2つの町が合併し、平成16年4月1日に誕生しました。

本市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然に恵まれた市です。

一方、令和3年4月に開港50周年を迎えた御前崎港は、5万トン級の大型コンテナ船が接岸できる多目的国際ターミナルを持ち、東南アジア航路が就航しています。

また、御前崎港と静岡空港とを結ぶ高規格道路も開通し、本市は陸・海・空の玄関口として将来に向けて大きく発展することが期待されています。



市の花 ハマヒルガオ



市の木 ヤマモモ

### ○ 自治体名及び代表者名

御前崎市

代表者 御前崎市長 柳澤重夫

### ○ 環境管理責任者

市民生活部長 大澤和也

### ○ 所在地

御前崎市役所本庁舎

〒437-1692

静岡県御前崎市池新田 5585 番地



支所:御前崎市白羽 6171 番地の 1	市立図書館アスパル:池新田 5560 番地
御前崎市学校給食センター:池新田 7563 番地の 5	
池新田地区センター:池新田 3262 番地	高松地区センター:門屋 2060 番地の 2
佐倉地区センター:佐倉 3617 番地の 1	比木地区センター:比木 2836 番地の 5
朝比奈地区センター:上朝比奈 2681 番地の 1	新野地区センター:新野 789 番地の 1
御前崎地区センター:港 6185 番地の 1	白羽地区センター:白羽 5403 番地の 20
白羽保育園:白羽 3576 番地の 1	
池新田幼稚園:池新田 5814 番地	高松幼稚園:門屋 2070 番地の 103
白羽幼稚園:白羽 3520 番地の 46	さくらこども園:佐倉 888 番地の 1
北こども園:上朝比奈 2692 番地の 12	御前崎こども園(乳児棟):御前崎 2936 番地の 2
御前崎こども園(幼児棟):御前崎 78 番地の 27	
第一小学校:池新田 1520 番地	浜岡東小学校:佐倉 1403 番地の 1
浜岡北小学校:下朝比奈 753 番地	御前崎小学校:御前崎 3556 番地
白羽小学校:白羽 3521 番地の 3	浜岡中学校:池新田 3923 番地の 1
消防署:池新田 5151 番地の 1	白羽出張所:白羽 6171 番地の 1
御前崎市牧之原市学校組合立御前崎中学校:牧之原市新庄 800 番地の 1	

## ○ 担当課

御前崎市市民生活部 環境課

電話 : 0537-85-1162 FAX : 0537-85-1149

E-mail : kankyo@city.omaezaki.shizuoka.jp

## ○ 事業活動の内容

御前崎市で実施している事務・事業

御前崎市 公式ホームページ参照

ホームページアドレス <http://www.city.omaezaki.shizuoka.jp>

## ○ 事業の規模(令和3年4月1日現在)

御前崎市人口 31,522人

職員総数 1,095人

対象施設職員数 763人(職員549人、臨時職員214名)

令和3年度一般会計当初予算額 154億1,000万円

延べ床面積 本庁舎:6,510㎡、西館:2,486㎡、図書館:3,452㎡、  
 学校給食センター:2,386㎡、地区センター計:9,964㎡、園計:11,788㎡、  
 小中学校計:50,867㎡、消防署:3,727㎡、白羽出張所(支所含む):3,381㎡

○ 取得の範囲及び施設拡大の経緯

御前崎市では、市職員が常駐する施設(市立病院を除くすべての施設)でエコアクション 21 に取り組んでいます。

認証登録年月日	施設名
平成 25 年 3 月 4 日	本庁舎、白羽出張所(H31.3 月より支所(教育会館)から、白羽出張所に名称変更)
平成 27 年 3 月 4 日	市立図書館アスパル、学校給食センター、池新田地区センター、高松地区センター、佐倉地区センター、比木地区センター、朝比奈地区センター、新野地区センター、御前崎地区センター、白羽地区センター(令和 2 年度、公民館から地区センターに名称変更)
平成 29 年 3 月 4 日	白羽保育園、池新田幼稚園、高松幼稚園、白羽幼稚園、さくらこども園、北こども園、御前崎こども園(乳児棟、幼児棟)
平成 30 年 3 月 4 日	第一小学校、浜岡東小学校、浜岡北小学校、白羽小学校、御前崎小学校、浜岡中学校、御前崎中学校、消防署
平成 31 年 3 月 4 日	西館

現在の取り組み範囲は以下のとおりです。

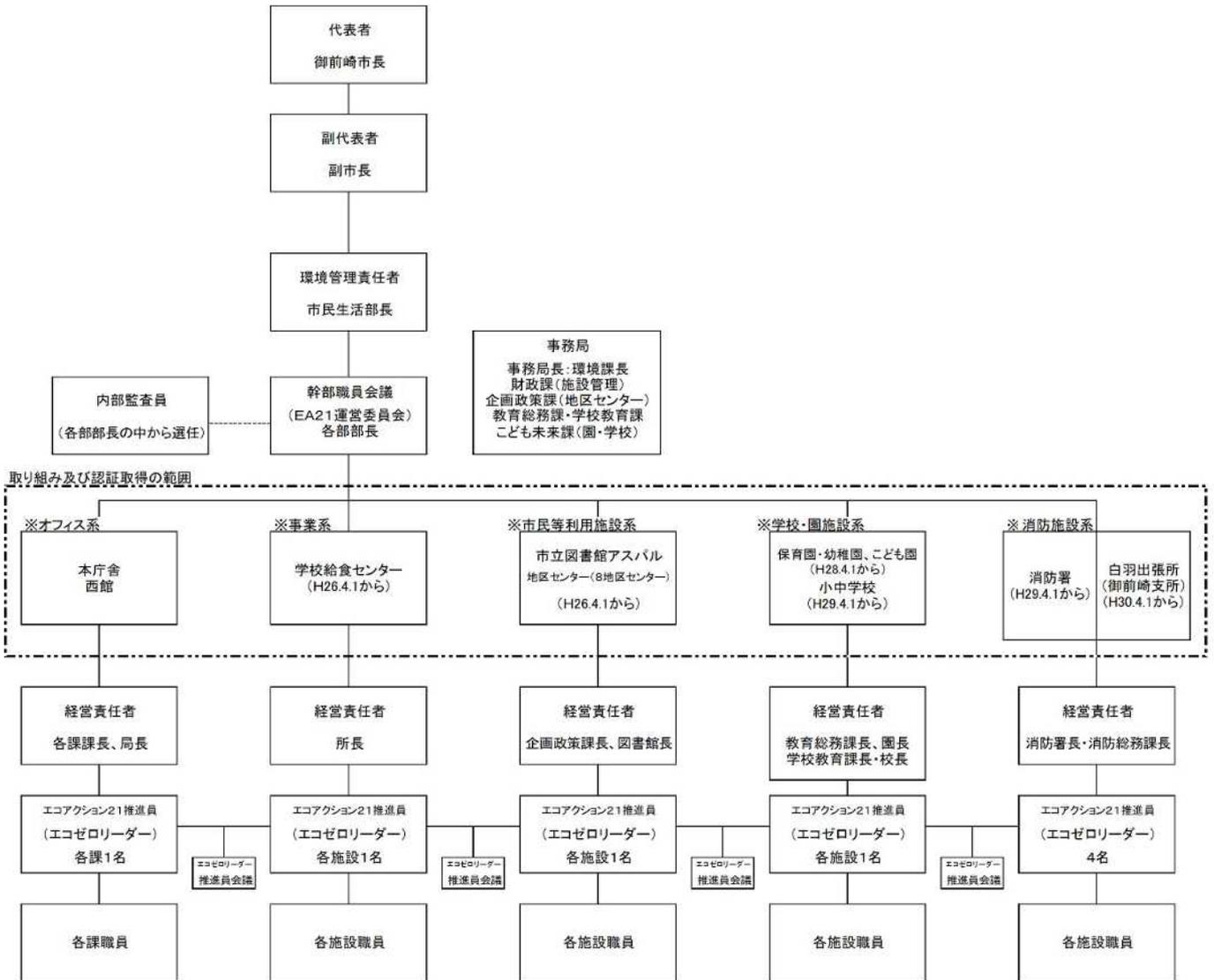
施設名	部局名	課等名
本庁	総務部	総務課、企画政策課、エネルギー政策課、財政課、税務課
	市民生活部	市民課、環境課、上下水道課
	建設経済部	建設課、都市政策課、管理課、農林水産課、商工観光課
	教育部	教育総務課、学校教育課、社会教育課
	—	会計課、議会事務局、監査委員事務局
市立図書館アスパル	教育部	図書館
学校給食センター	教育部	学校給食センター(令和 3 年 8 月に合併、稼働)
地区センター	—	池新田地区センター、高松地区センター、佐倉地区センター、比木地区センター、朝比奈地区センター、新野地区センター、御前崎地区センター、白羽地区センター
幼保こども園	—	白羽保育園、池新田幼稚園、高松幼稚園、白羽幼稚園、さくらこども園、北こども園、御前崎こども園
小中学校	—	第一小学校、浜岡東小学校、浜岡北小学校、白羽小学校、御前崎小学校、浜岡中学校、御前崎中学校
消防署	本部	消防総務課、予防課、消防署
白羽出張所	白羽出張所	
	市民生活部	御前崎支所
西館	危機管理部	危機管理課
	健康福祉部	福祉課、こども未来課、高齢者支援課、健康づくり課

### 3 実施体制

○ 御前崎市エコアクション21 実施体制（平成 26 年 4 月 1 日以降）

対象施設及び部署：

本庁舎、西館、白羽出張所、市立図書館アスパル、学校給食センター、地区センター（8地区センター）  
 保育園（白羽）、幼稚園（池新田・高松・白羽）、こども園（さくら・北・御前崎）、小学校・中学校、消防署



※但し、地区センターにおいては、活動責任者を企画政策課長とし、エコアクション21推進員（エコゼロリーダー）を各地区センターへ1名置くものとする。保育園・幼稚園・こども園の事務局はこども未来課・学校教育課、小学校・中学校の事務局は学校教育課・教育総務課に置くものとする。

## 各組織の役割

- 代表者及び副代表者(市長及び副市長)  
経営における課題とチャンスをつまえた環境経営方針の制定  
環境経営システムに必要な資源(人員、設備、費用)の準備  
環境経営システムの見直し、評価  
環境管理責任者の指名
- 環境管理責任者(市民生活部長)  
環境経営システムの総責任者としてシステムの構築、実施、管理  
提出書類の精査、確認  
代表者及び副代表者へ環境経営システムの実績の報告
- 幹部職員会議(各部署長)エコアクション21運営委員会  
取組の評価及びチェック、環境管理責任者の補助、エコアクション21の進捗管理
- 経営責任者(各課課長、局長、所長、図書館長、園長、署長)  
各部署における適切な運用管理、環境経営システムの周知、徹底、訓練  
運用状況に関する点検、確認、評価、内部監査、外部審査に対する対応  
各部署における環境施策取組計画の決定
- エコアクション 21・ゼロカーボンシティ推進員(エコゼロリーダー)(各課係長等)  
各部署における取組の周知、徹底  
運用状況に関する点検、確認、評価、環境経営システムに関する実施状況の確認、記録  
各部署における環境施策、取組、計画の素案作成  
エコゼロリーダー推進員会議・内部監査及び外部審査説明会等へ出席  
内部監査・外部審査に対する対応  
2050年ゼロカーボンシティの推進
- 職員  
市役所全体及び各部署の目標達成に向けて計画、行動の実践  
エコアクション 21 の円滑な運営に対する協力
- 内部監査員(総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、建設経済部長、教育部長)  
各部署(実行部門)に対する監査の実施
- 事務局(環境課・財政課・教育総務課・企画政策課・学校教育課・こども未来課)  
環境経営システムに関する実施状況の取りまとめ、記録  
環境に関する職員研修等の運営  
内部監査、外部審査の運営  
その他環境経営システムの運営上必要とする業務の実施



## 4. 環境経営目標

中長期目標と令和3年度の実績及び評価

- ※1 環境経営目標について、平成 24 年度(本庁舎、白羽出張所・支所)、平成 26 年度(図書館、給食センター、地区センター)、平成 28 年度(幼保こども園)、平成 29 年度(小中学校、消防署)を基準年とした基準年度比を示す。令和 4 年度以降は、環境経営目標を、御前崎市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)【2022(令和 4)年度～2030(令和 12)年度】に合わせ、2030(令和 12)年度までに、2013(平成 25)年度比で 50%削減することを目標とする。但し、個別施設の基準年度は、現在の認証施設が揃った平成 30 年度とする。
- ※2 評価は、「○:目標を達成」「△:取り組みが十分でなく、さらなる環境負荷への取り組みが必要」「×:早急に改善が必要」

### ①二酸化炭素排出量の削減 (単位:kg-CO<sub>2</sub>)

基準年	R3 年度実績	R3 年度目標	評価	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標
2,010,287	1,699,767 (-15.45%)	1,880,126 (-6.47%)	○	1,860,022 (-7.47%)	1,839,920 (-8.47%)	1,819,818 (-9.47%)

二酸化炭素の排出量は、基準年比で 15.45%削減されています。

排出係数は以下のとおりです。

		排出係数	単位発熱量
電気使用量	H24	0.474 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
	H26	0.474 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
	H28	0.486 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
	H29	0.485 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
	H30	0.476 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
	R1	0.457 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
	R2	0.431 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
	R3	0.406 (kg-CO <sub>2</sub> /kwh)	
ガソリン		0.0671 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	34.6 (MJ/l)
灯油		0.0679 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	36.7 (MJ/l)
軽油		0.0686 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	37.7 (MJ/l)
A 重油		0.0693 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	39.1 (MJ/l)
LP ガス		0.0591 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	50.8 (MJ/kg)

## ②廃棄物排出量の削減（単位:kg）

基準年	R3 年度実績	R3 年度目標	評価	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標
90,716	54,679 (-18.58%)	85,129 (-6.16%)	○	84,222 (-7.16%)	83,314 (-8.16%)	82,409 (-9.16%)

廃棄物排出量は、基準年に比べて大きく減少しています。今後も、分別やリサイクルを呼び掛け、廃棄物の減少を目指します。

## ③総排水量の削減（単位:m<sup>3</sup>）

基準年	R3 年度実績	R3 年度目標	評価	R4 年度目標	R5 年度目標	R6 年度目標
69,609	55,773 (-19.93%)	65,730 (-5.57%)	○	65,035 (-6.57%)	64,340 (-7.57%)	63,644 (-8.57%)

水道使用量は、基準年に比べて減少しています。今後も、節水を心がけます。

## ④化学物質使用量の削減

屋外での除草剤や殺虫剤の使用など、環境に配慮した化学物質の使用及び管理を行っています。化学物質を保有している施設については、引き続き適切な管理をしていきます。

また、本庁舎の PCB 処理については、令和元年度に処分が完了しました。公共施設の PCB 処理についても、処理を進めていきます。

## ⑤グリーン購入（単位:円）

基準年	R2 年度実績	評価
15,199,308	18,526,229 (+21.889%)	○

グリーン購入額は、基準年より 3,326,921 円 (21.889%) 増加しています。

## ⑥本来業務に即した環境への取り組み

御前崎市では、全職員が重点的に取り組む「共通取組」と、各所属において日常業務の中で取り組む「本来業務に即した環境への取り組み」を推進しています。

各所属の本来業務に即した環境への取り組みは 29 ページ～49 ページのとおりです。

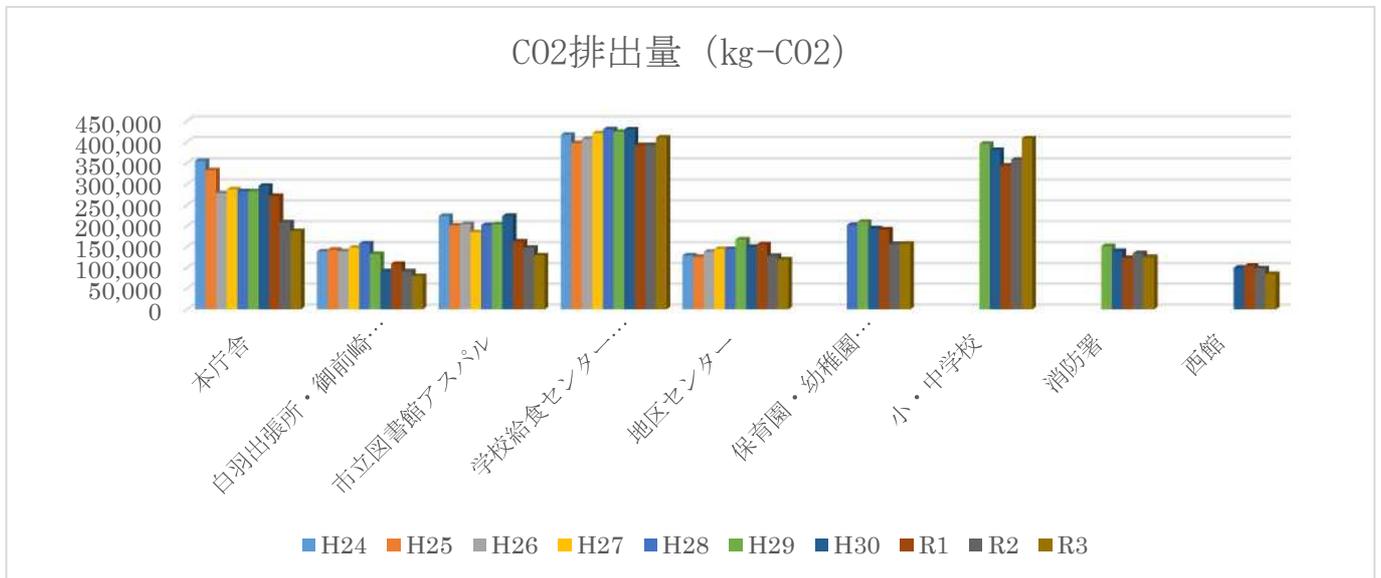
## 5. 環境経営目標の実績と評価

○環境負荷の状況と評価、次年度の取組内容

※運用期間: 令和3年4月～令和4年3月

### CO2 排出量 (kg-CO2)

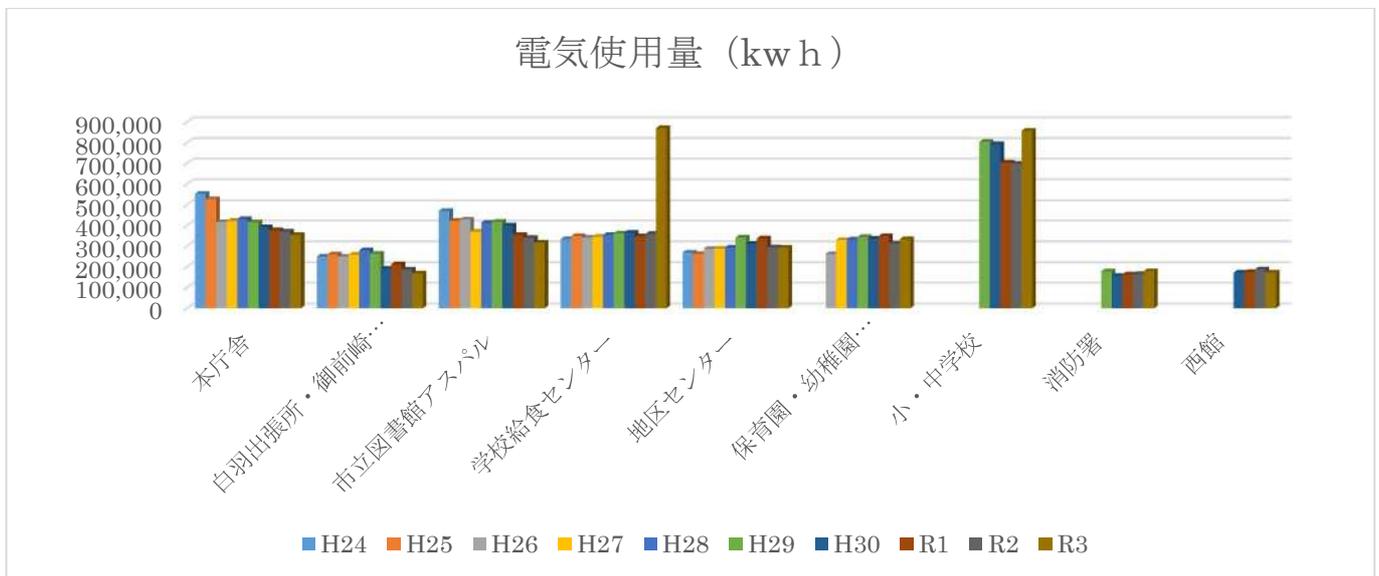
kg-CO2	H24	H26	H28	H29	R2	R3
本庁舎	354,645	277,756	282,601	282,628	208,428	187,170
白羽出張所・御前崎支所	138,384	138,820	157,639	132,860	91,026	79,523
市立図書館アスパル	223,392	204,099	201,585	203,500	147,250	129,048
学校給食センター	416,700	407,249	430,219	424,354	392,459	410,232
地区センター	129,152	137,808	144,399	167,234	127,927	119,501
保育園・幼稚園・こども園			201,777	209,545	156,346	156,870
小・中学校				395,193	357,596	408,198
消防署				151,044	134,494	124,940
西館					98,229	84,286
計	1,262,273	1,165,732	1,418,220	1,966,358	1,713,753	1,699,767



○本庁舎の二酸化炭素排出量は、新型コロナウイルス感染対策で、イベントの中止・延期、また Web 会議の推進等、庁用車の使用回数が減ったことにより、CO2 排出量が減少しています。また、各施設が事業活動を再開し始めている影響で、学校給食センター・小中学校・幼保こども園は前年度と比較すると、CO2 排出量が増加しています。しかし、全体では前年度と比べると CO2 排出量は減少となりました。引き続き、エコゼロリーダーを中心に目標に向けて見直しを検討します。

## 電気使用量(kwh)

kwh	H24	H26	H28	H29	R2	R3	CO2 排出量
本庁舎	552,400	415,554	431,478	414,632	371,196	353,744	143,620
白羽出張所・御前崎支所	250,405	249,309	280,410	263,418	187,125	168,552	68,432
市立図書館アスパル	469,869	429,044	412,989	418,062	340,265	316,494	128,497
学校給食センター	334,090	340,631	354,217	361,991	358,981	869,820	353,147
地区センター	269,213	287,284	293,736	341,480	294,742	292,810	118,881
保育園・幼稚園・こども園		262,263	332,191	344,405	312,663	334,081	135,637
小・中学校				803,691	698,274	856,917	347,908
消防署				178,185	165,142	179,111	72,719
西館					187,835	172,463	70,020
計	1,875,977	1,984,085	2,105,021	3,125,864	2,916,223	3,543,992	1,438,861



○本庁舎の電気使用量は、基準年比で 35%削減しました。前年度比にすると 4%減少しています。また、平成 24 年度から照明器具の LED 化を進めており、今後も、各施設において LED 設備の更新を行っていきます。学校給食センターについては、令和3年度に建物が新設され、オール電化となったことで、前年度より電気使用量が増加しています。各施設において更なる使用量削減に向け、所属部署ごと見直しを行い、エコゼロリーダーを中心に省エネに取り組んでいきます。



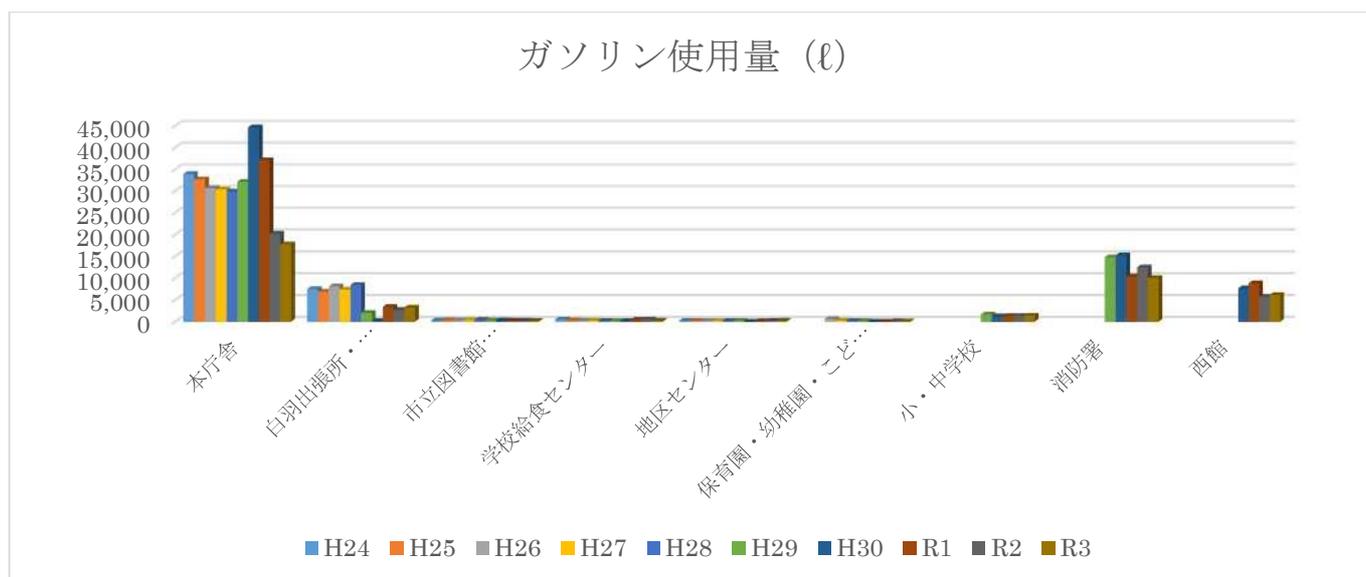
節電を促す表示ラベル



電力デマンド監視装置(財政課内)

## ガソリン使用量(ℓ)

ℓ	H24	H26	H28	H29	R2	R3	CO2 排出量
本庁舎	33,896	30,661	29,872	32,092	20,148	17,738	41,153
白羽出張所・御前崎支所	7,490	8,085	8,397	2,026	2,674	3,222	7,475
市立図書館アスパル	290	315	375	319	256	238	552
学校給食センター	518	252	206	115	490	249	578
地区センター	216	168	200	216	242	257	257
保育園・幼稚園・こども園		592	158	104	65	61	142
小・中学校				1,638	1,279	1,407	3,264
消防署				14,767	12,464	10,000	23,200
西館					5,689	6,132	14,226
計	42,410	40,073	40,073	51,277	43,307	39,304	90,847

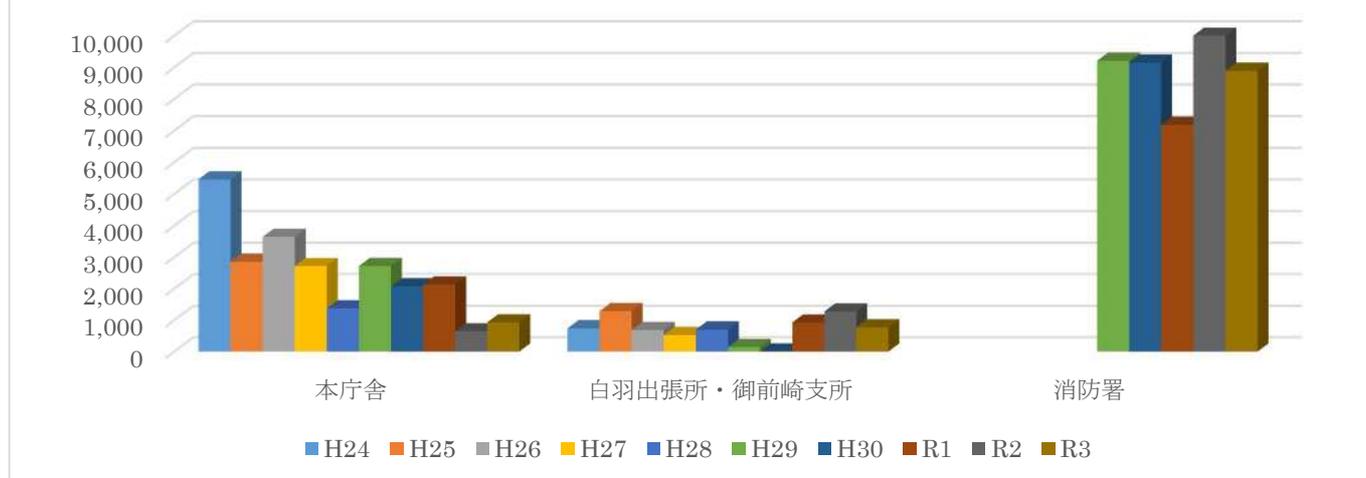


○ガソリンは公用車などの燃料として使用されています。公用車の購入や更新の際は軽自動車やハイブリッド車を購入しており、電気自動車も1台保有しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染対策による Web 会議の増加やイベント中止の影響で車の使用回数が減ったことにより、ガソリン使用量が減少しています。また、運転する際には地球にやさしいエコドライブを心掛けてまいります。

## 軽油使用量(ℓ)

ℓ	H24	H26	H28	H29	R2	R3	CO2 排出量
本庁舎	5,457	3,642	1,373	2,717	644	929	2,397
白羽出張所・御前崎支所	737	685	699	141	1,269	768	1,981
消防署				9,205	10,824	8,889	22,934
計	6,194	4,327	2,072	12,063	12,737	10,408	27,312

軽油使用量 (ℓ)

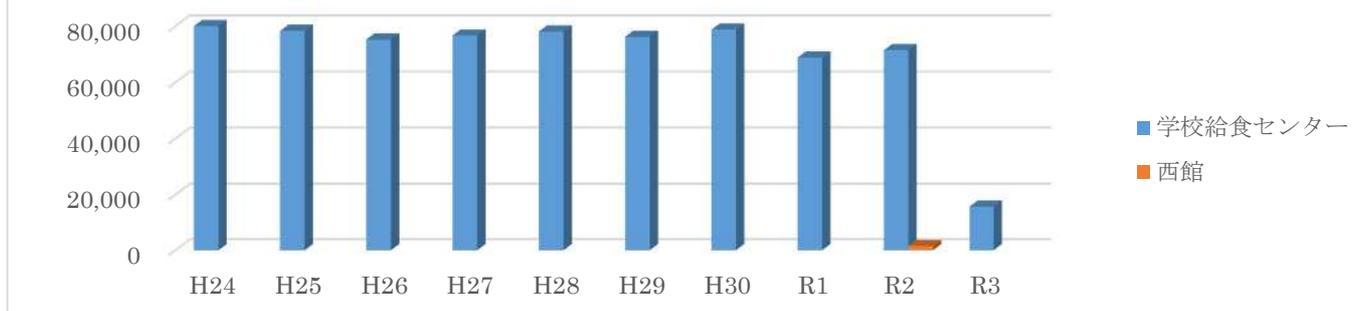


○軽油は公用車などの燃料として使用されています。今年度の使用量は昨年より減少しております。引き続きエコドライブを心掛け、地球にやさしい運転を行います。

## 重油使用量(ℓ)

ℓ	H24	H26	H28	H29	R2	R3	CO2 排出量
学校給食センター	80,500	75,300	78,100	76,200	71,400	15,700	42,547
西館					1,500	0	0
計	80,500	75,300	78,100	76,200	72,900	15,700	42,547

重油使用量 (ℓ)

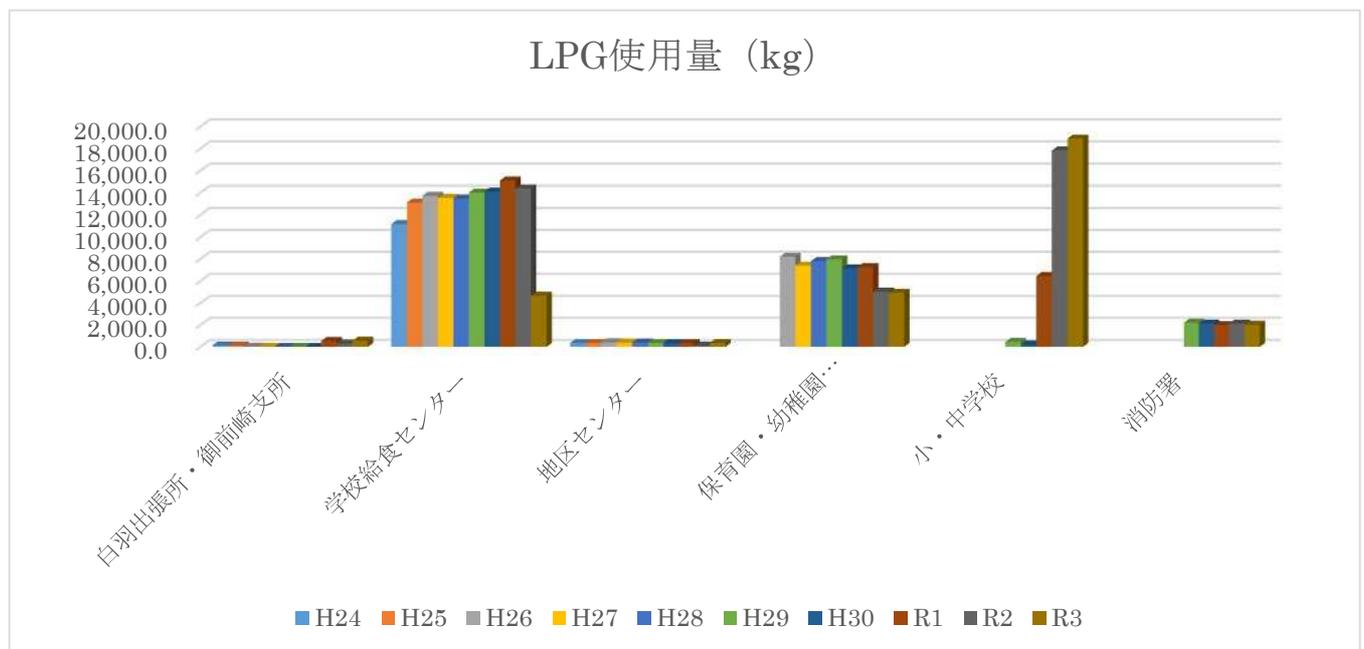


○重油は給食センター・西館地下貯蔵タンクで使用されています。学校給食センターが新設されて、オール電化となったため、重油使用量が前年度と比べて減少しました。引き続き適切な使用と管理を行います。

## LPG 使用量 (kg)

kg	H24	H26	H28	H29	R2	R3	CO2 排出量
白羽出張所・御前崎支所	132.5	35.2	18.2	12.4	295.2	544.8	1,634
学校給食センター	11,151.1	13,713.8	13,467.4	14,007.7	14,367.9	4,653.4	13,960
地区センター	347.8	414.0	392.8	372.8	110.1	363.3	363
保育園・幼稚園・こども園		8,195.1	7,795.6	7,969.5	5,010.8	4,910.2	14,731
小・中学校				440.9	17,817.7	18,894.0	56,682
消防署				2,177.6	2,127.5	2,028.8	6,086
西館						13.0	39
計	11,631.3	22,358.1	21,674	24,981.0	39,729.3	31,407.6	93,496

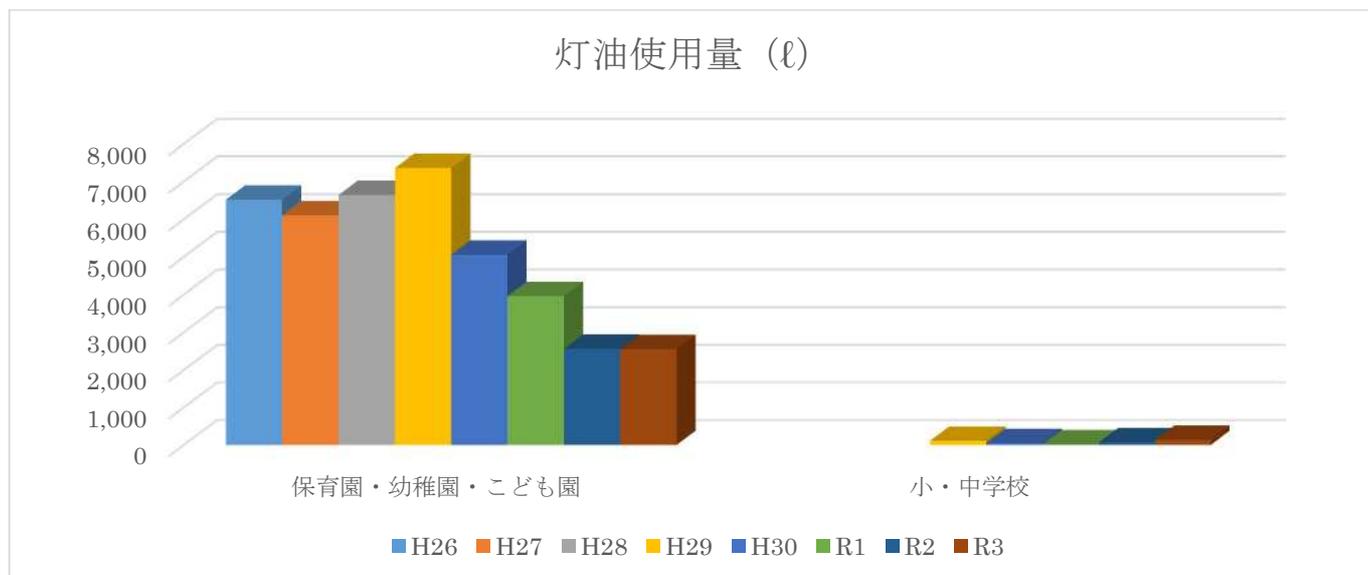
※1 m<sup>3</sup>…2.07kgにて換算



OLPG は給湯やエアコンの燃料として用いられています。令和3年度より、学校給食センターが新設され、オール電化となったことで前年度に比べて 20%減少しました。適切な使用を心掛け、無駄を省き減量していきます。また、地区センターについては、施設利用者へ適切な使用の啓発を行います。

## 灯油使用量(ℓ)

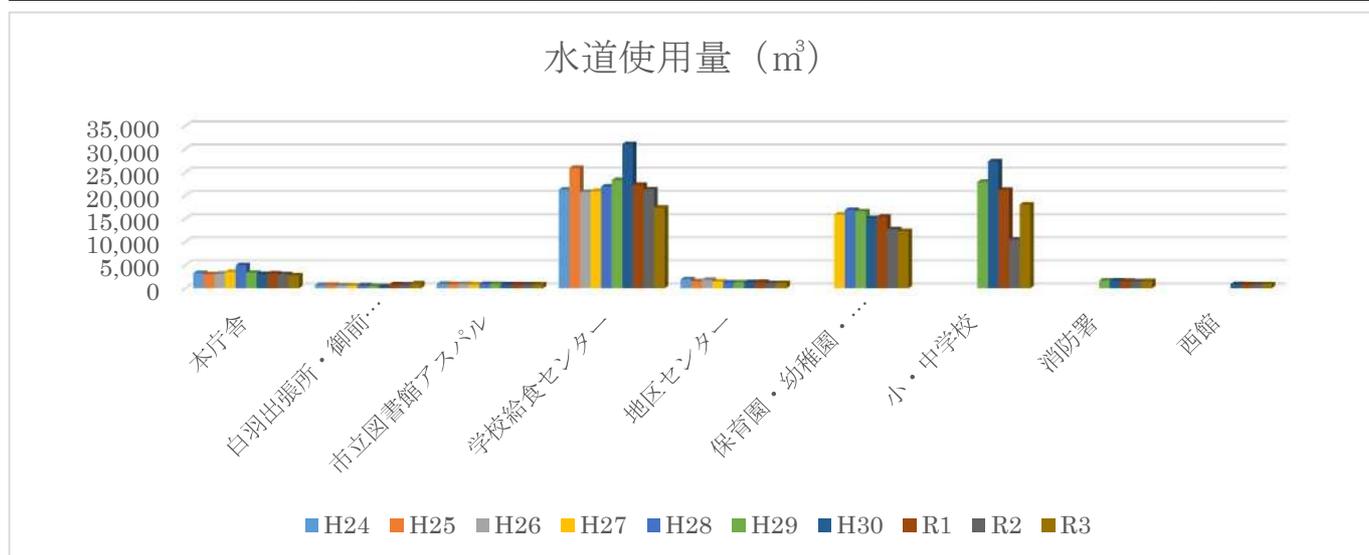
ℓ	H26	H28	H29	R2	R3	CO2 排出量
保育園・幼稚園・こども園	6,522	6,645	7,361	2,566	2,554	6,360
小・中学校			112	70.6	138	344
計	6,522	6,645	7,361	2,636	2,692	6,704



○灯油は各園・各小中学校で使用されています。引き続き適切な使用と管理を行います。

## 水道使用量(m<sup>3</sup>)

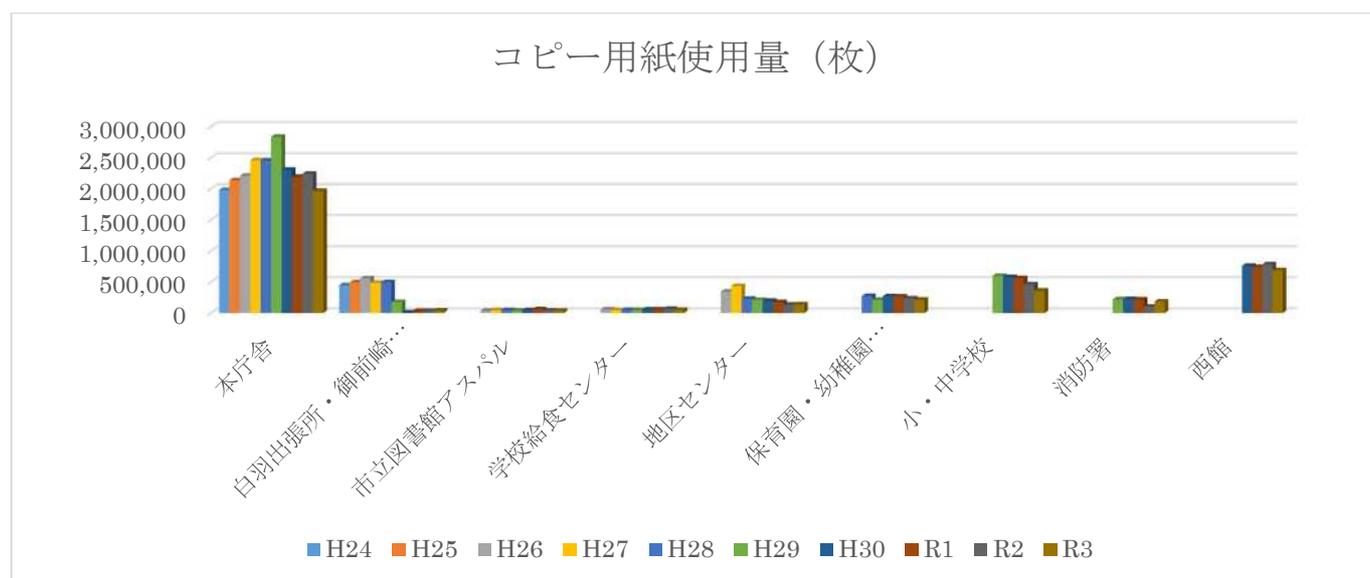
m <sup>3</sup>	H24	H26	H28	H29	R2	R3
本庁舎	3,242	3,145	4,961	3,353	3,013	2,755
白羽出張所・御前崎支所	698	605	642	478	762	1009
市立図書館アスパル	953	912	898	917	792	767
学校給食センター	21,273	20,746	21,966	23,350	21,292	17,390
地区センター	1,920	1,791	1,233	1,263	1,095	1,108
保育園・幼稚園・こども園			16,913	16,599	12,720	12,301
小・中学校				22,932	10,456	18,071
消防署				1,678	1,499	1,540
西館					797	832
計	28,086	27,199	46,613	75,153	52,426	55,773



○新型コロナウイルス感染対策をした上で、各施設が事業活動を再開し始めている影響で、前年度に比べて、水道使用量は、増加しています。今後も施設管理課にて随時点検等を行い、使用量が最小限となるよう管理を徹底していきます。

## コピー用紙使用量(枚)

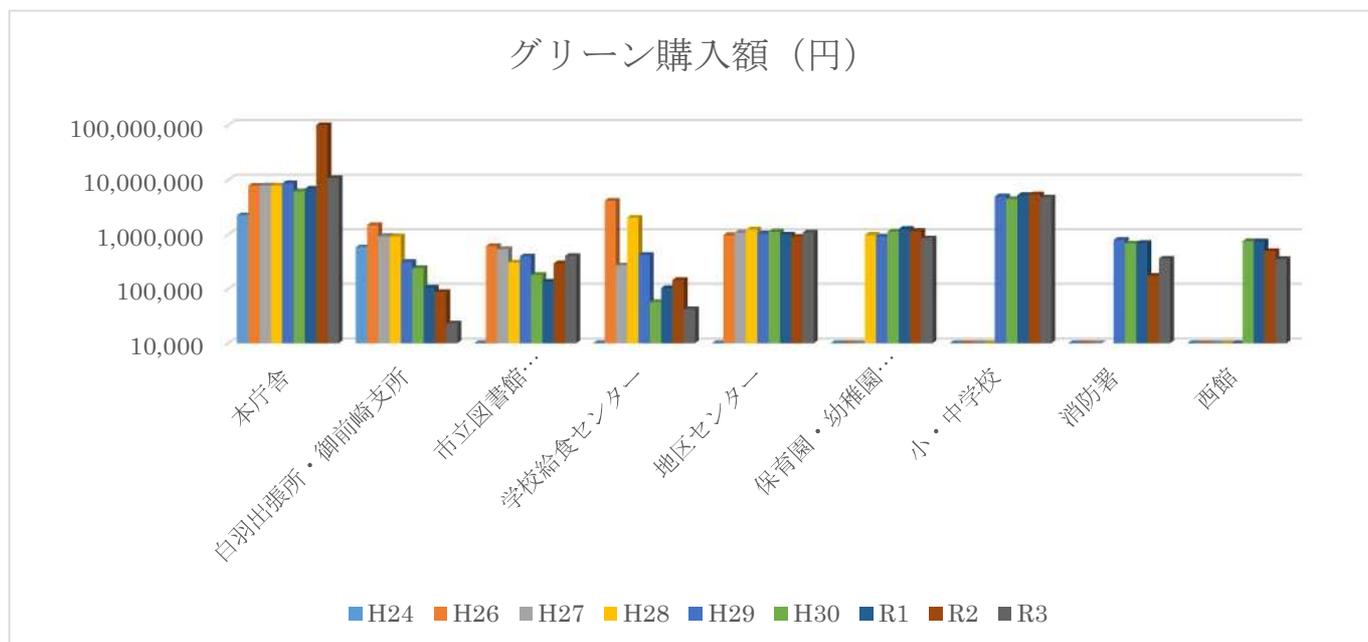
枚	H24	H26	H28	H29	R2	R3
本庁舎	1,979,590	2,206,493	2,453,992	2,834,109	2,241,925	1,962,101
白羽出張所・御前崎支所	447,291	556,027	494,827	175,325	32,853	40,396
市立図書館アスパル		33,856	44,192	36,881	38,114	35,911
学校給食センター		55,990	47,716	47,754	68,349	49,043
地区センター		343,487	229,270	210,500	136,094	136,953
保育園・幼稚園・こども園			273,145	211,120	236,304	214,363
小・中学校				596,420	462,337	360,690
消防署				218,772	100,357	184,774
西館					784,677	687,978
計	2,426,881	3,195,853	3,543,142	4,330,881	4,101,010	3,672,209



○古紙の裏面活用、印刷物のデータ化を行い、紙使用量を削減します。令和3年度より、公文書の電子化及び、ペーパーレス化を推進しており、文書管理システム及び財務会計システムの電子決裁の活用を徹底を呼び掛けたため、前年度に比べて10%の削減となりました。今後もコピー用紙削減に取り組めます。

## グリーン購入額(合計額)

円	H24	H26	H28	H29	R2	R3
本庁舎	2,229,014	7,764,088	7,785,528	8,605,420	105,337,731	10,713,368
白羽出張所 御前崎支所	577,724	1,475,766	916,294	310,645	87,025	22,969
市立図書館 アスパル		604,838	303,917	393,832	292,248	401,271
学校給食センター		4,110,637	2,016,547	421,182	144,958	41,883
地区センター		971,201	1,214,849	1,026,896	904,020	1,076,952
保育園・幼稚園 ・こども園			971,396	912,921	1,149,906	841,918
小・中学校				4,943,077	5,392,302	4,720,007
消防署				791,421	172,608	357,380
西館					492,558	350,481
計	2,806,738	14,926,532	13,208,533	17,405,394	113,973,356	18,526,229

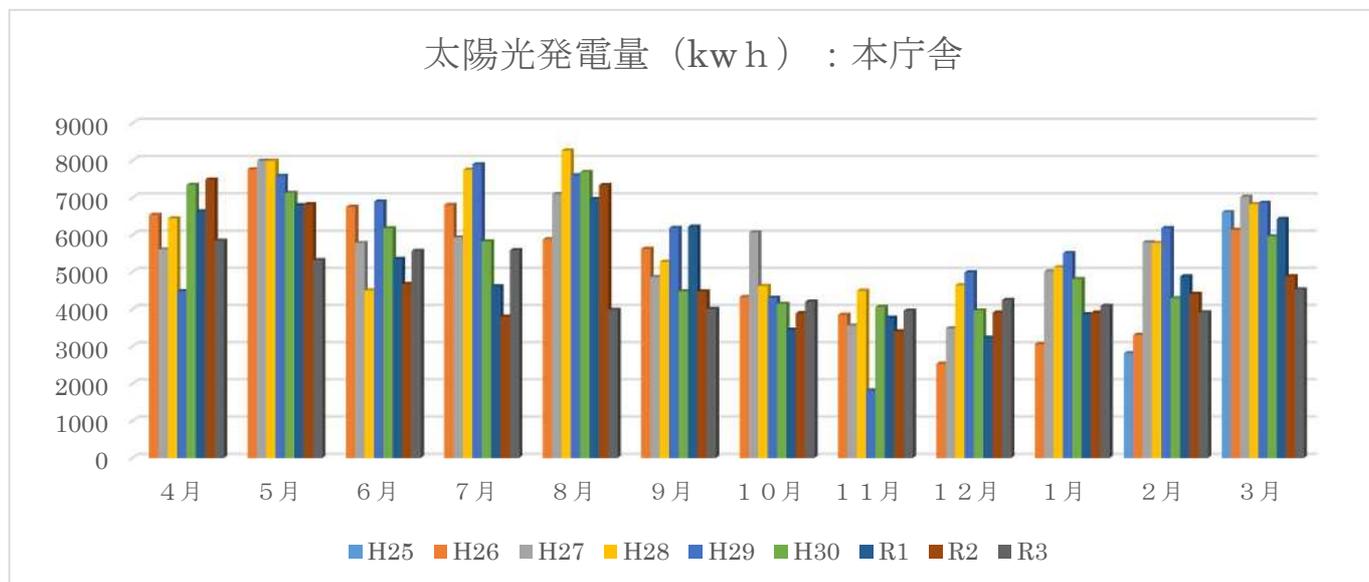


○庁舎、各施設における物品・サービス、購入・使用について意識を高め環境に配慮します。

### 太陽光発電量(kwh) : 本庁舎

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H25											2,808	6,604	9,412
H26	6,530	7,759	6,744	6,802	5,874	5,620	4,322	3,841	2,527	3,057	3,304	6,130	62,510
H27	5,603	7,984	5,773	5,919	7,093	4,861	6,055	3,556	3,483	5,012	5,796	7,015	68,150
H28	6,435	7,984	4,500	7,741	8,261	5,272	4,621	4,491	4,638	5,120	5,772	6,818	71,653
H29	4,479	7,586	6,889	7,897	7,594	6,180	4,301	1,804	4,987	5,501	6,175	6,857	70,250
H30	7,340	7,120	6,173	5,815	7,688	4,473	4,138	4,057	3,958	4,807	4,291	5,951	65,811
R1	6,627	6,795	5,348	4,609	6,955	6,215	3,443	3,764	3,225	3,859	4,878	6,421	62,139
R2	7,485	6,817	4,673	3,794	7,329	4,469	3,886	3,397	3,902	3,904	4,408	4,880	58,944
R3	5,838	5,316	5,564	5,583	3,976	4,004	4,200	3,954	4,244	4,085	3,907	4,527	55,197

### 太陽光発電量 (kwh) : 本庁舎



【本庁舎・西館】廃棄物排出量(kg)

	種別	対応	H24	H26	H29	R2	R3
一般廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	852.0	525.6	214.6	328.6	96.3
	新聞紙	リサイクル	1,221.0	1,167.2	1,400.8	823.8	899.1
	段ボール	リサイクル	676.0	786.9	1,104.1	1,390.2	1,608.5
	雑誌	リサイクル	1,124.0	912.6	2,049.5	1,997.0	1,735.3
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	1,962.0	2,499.8	3,232.2	3,916.1	4,067.9
	守秘義務文書	リサイクル	954.0	1,070.8	2,502.8	2,375.2	2,887.9
		廃棄	771.0	1,783.6	2,163.1	1,039.4	649.3
	粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0	397.0	10.1
		廃棄	14.0	8.8	32.2	12,990.0	28.1
	その他	リサイクル	4.0	27.8	114.7	0.0	1.1
廃棄		14.0	0.0	0.0	12.9	11.6	
可燃ごみ	廃棄	2,492.0	2,370.2	3,338.9	2,072.4	1,865.9	
産業廃棄物	金物類	リサイクル	28.0	17.2	134.2	95.4	911.8
	ガラス類	リサイクル	47.0	8.0	17.8	20.3	143.6
	ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	128.0	146.4	242.6	253.0	247.2
	蛍光灯	リサイクル	9.0	0.0	0.0	3.0	0.0
計	リサイクル		7,005.0	7,162.3	11,013.3	11,599.6	12,608.8
	廃棄		3,291.0	4,162.6	5,534.2	16,114.7	2,554.9

【本庁舎・西館】廃棄物排出量 (kg)



### 【白羽出張所・御前崎支所】廃棄物排出量(kg)

H29.8月より、教育委員会(教育総務課、社会教育課、学校教育課)が本庁3階に移動。

H31.4月より、白羽出張所・御前崎支所となる。

	種別	対応	H24	H26	H29	R2	R3
一般廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	8.0	134.5	30.5	0.0	8.7
	新聞紙	リサイクル	101.0	289.0	185.0	0.0	1.3
	段ボール	リサイクル	27.0	114.0	13.5	4.0	20.1
	雑誌	リサイクル	130.0	60.0	110.9	10.0	32.0
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	282.0	88.5	205.9	0.0	68.1
		廃棄	0.0	0.0	43.0	0.0	0.0
	粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃棄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃棄	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
可燃ごみ	廃棄	89.0	55.0	487.0	485.7	344.3	
産業廃棄物	金物類	リサイクル	0.0	0.0	92.0	2.3	6.7
	ガラス類	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4
	ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	24.0	37.0	5.0	27.9	16.5
	蛍光灯	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ペットボトル	リサイクル				0.0	0.0
	医療系産業廃棄物	廃棄				23.7	26.7
計	リサイクル		807.0	1,055.0	690.3	76.0	196.8
	廃棄		89.0	55.0	530.0	511.4	371.0

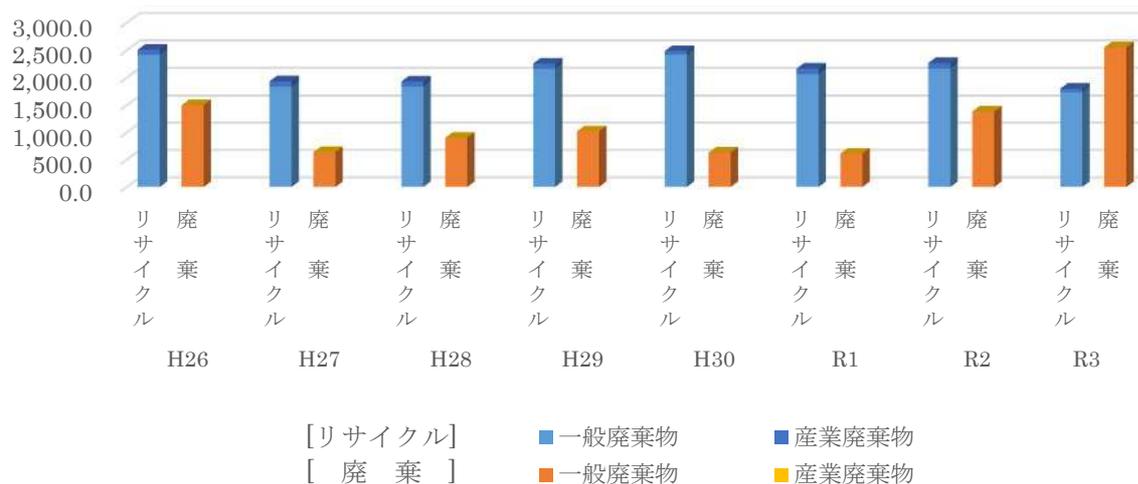
### 【白羽出張所・御前崎支所】廃棄物排出量 (kg)



【図書館】廃棄物排出量(kg)

	種別	対応	H26	H29	H30	R2	R3
一般 廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	45.6	68.4	39.6	52.5	60.9
	新聞紙	リサイクル	639.8	708.6	617.0	704.5	509.7
	段ボール	リサイクル	168.3	227.5	231.6	227.2	247.9
	雑誌	リサイクル	939.0	844.0	955.9	751.0	546.2
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	589.7	270.7	513.8	391.7	330.9
	守秘義務文書	リサイクル	21.9	30.2	44.0	23.0	25.7
		廃棄	10.4	9.0	32.6	36.8	22.4
	粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃棄	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	リサイクル	13.0	10.8	18.0	17.0	13.3
廃棄		123.8	75.6	0.0	0.0	0.0	
可燃ごみ	廃棄	1,362.7	936.7	600.7	1,347.3	2,531.0	
産業 廃棄物	金物類	リサイクル	11.8	12.0	26.4	12.6	2.8
	ガラス類	リサイクル	4.0	1.0	3.6	4.8	1.1
	ビニール・ プラスチックごみ	リサイクル	75.4	78.2	37.6	85.0	61.5
	蛍光灯	リサイクル	2.0	6.2	0.0	0.0	0.0
計	リサイクル		2,510.5	2,257.6	2,487.5	2,269.3	1,800.0
	廃棄		1,500.3	1,021.3	633.3	1,384.1	2,553.4

【図書館】廃棄物排出量 (kg)



## 【学校給食センター】廃棄物排出量(kg)

R3.9月より、浜岡学校給食センター・御前崎学校給食センターが御前崎市給食センターとなる。

	種別	対応	H26	H29	H30	R2	R3
一般廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	41.1	45	26	8	43.4
	新聞紙	リサイクル	314.3	168.8	174.7	121.8	36.1
	段ボール	リサイクル	20.4	20.4	6.5	2.5	0.0
	雑誌	リサイクル	114.5	9.8	0.0	42.7	50.0
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	30.6	0.0	11.4	65.8	35.7
	守秘義務文書	リサイクル	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
		廃棄	156.0	0.0	0.0	12.5	206.7
	粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃棄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	300.0
廃棄		156.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	可燃ごみ	廃棄	19,194.7	18,548.2	18,781.0	17,658.3	17,092.2
産業廃棄物	金物類	リサイクル	4.6	0.0	0.0	5.0	230.0
	ガラス類	リサイクル	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	0.2	0.0	0.0	0.0	320.0
	蛍光灯	リサイクル	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0
食品廃棄物	生ごみ(野菜くず、残菜)	リサイクル	13,653.3	13,794.4	12,038.7	13,854.0	20,515.0
		廃棄	0.0	2,411.8	3,755.8	4,441.7	1,787.8
	廃油(植物油)	リサイクル	2,500.0	2,400.0	2,620.0	2,280.0	2,920.0
計	リサイクル		16,679.0	16,438.4	14,877.3	16,385.7	24,450.2
	廃棄		19,506.7	20,960.0	22,536.8	22,112.5	19,086.7

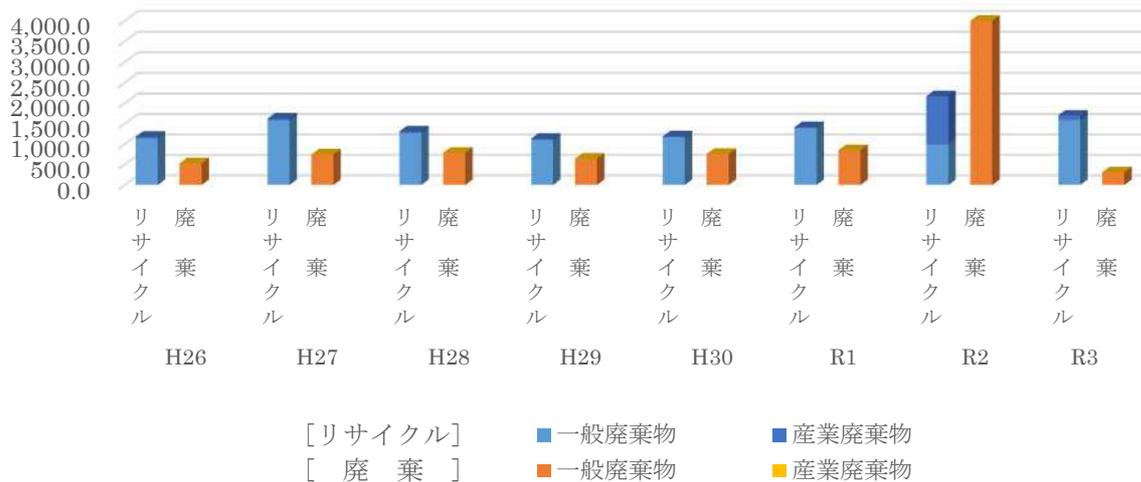
### 【学校給食センター】廃棄物排出量 (kg)



【地区センター】廃棄物排出量(kg)

	種別	対応	H26	H29	H30	R2	R3
一般廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	62.7	45.4	35.4	18.0	7.5
	新聞紙	リサイクル	759.9	741.4	570.5	601.5	755.9
	段ボール	リサイクル	75.2	135.6	238.3	206.3	142.0
	雑誌	リサイクル	81.8	65.1	31.4	16.5	128.1
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	158.9	83.5	113.8	135.4	280.8
	守秘義務文書	リサイクル	0.0	30.0	13.4	12.5	273.4
		廃棄	0.0	14.0	115.0	280.0	18.4
	粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃棄	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0
	その他	リサイクル	1.0	0.0	164.0	0.0	4.8
廃棄		0.0	0.0	0.0	245.0	0.0	
可燃ごみ	廃棄	531.6	629.9	639.2	3,814.2	294.5	
産業廃棄物	金物類	リサイクル	3.8	2.6	2.6	810.7	48.2
	ガラス類	リサイクル	0.0	0.0	0.0	16.3	9.0
	ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	35.1	27.1	20.4	343.6	47.6
	蛍光灯	リサイクル	0.6	0.0	0.0	7.7	4.9
計	リサイクル		1,179.0	1,130.7	1,189.8	2,168.5	1,702.2
	廃棄		531.6	643.9	761.2	4,339.2	312.9

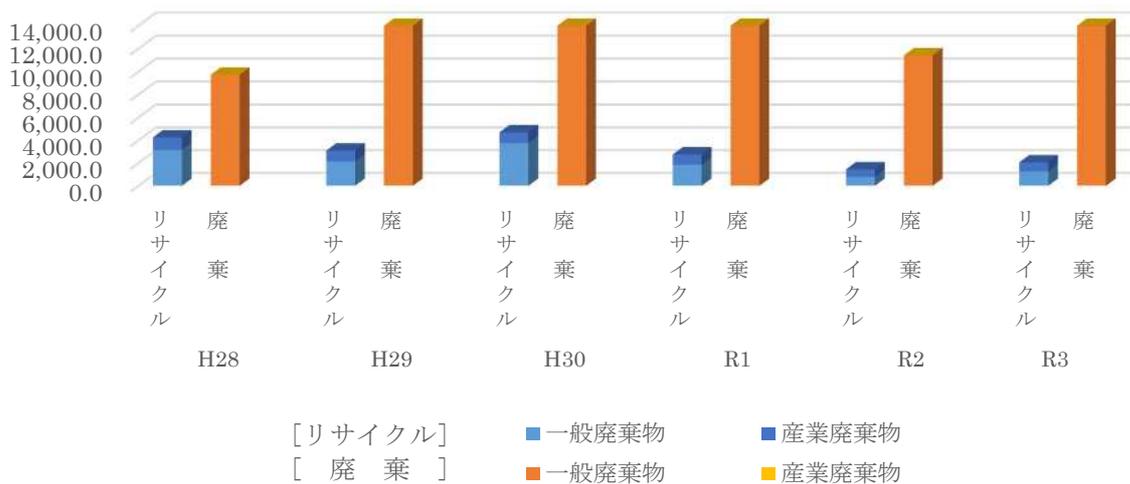
【地区センター】廃棄物排出量 (kg)



【保育園・幼稚園・こども園】廃棄物排出量(kg)

	種別	対応	H28	H29	H30	R2	R3
一般廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	171.6	14.1	3.0	24.5	2.6
	新聞紙	リサイクル	0.0	67.3	360.0	0.0	5.7
	段ボール	リサイクル	884.7	666.5	1,197.6	405.0	538.4
	雑誌	リサイクル	347.6	108.1	1,017.6	51.9	52.6
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	1,164.3	1,272.0	1,145.4	290.6	646.5
	守秘義務文書	リサイクル	38.6	0.3	6.6	0.0	0.0
		廃棄	1.8	28.0	2.1	2.1	0.0
	粗大ごみ	リサイクル	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃棄	922.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	リサイクル	542.5	4.5	13.5	1.5	5.5
廃棄		196.9	450.7	53.8	599.7	0.9	
	可燃ごみ	廃棄	8,606.8	13,716.0	14,569.7	10,811.5	14,693.5
産業廃棄物	金物類	リサイクル	493.6	128.1	279.1	108.6	216.6
	ガラス類	リサイクル	18.0	33.8	19.1	12.3	42.3
	ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	587.2	793.0	652.6	553.9	553.0
	蛍光灯	リサイクル	3.1	2.0	2.3	3.4	0.0
計	リサイクル		4,252.9	3,089.7	4,696.8	1,451.7	2,063.2
	廃棄		9,728.3	14,194.7	14,625.6	11,413.3	14,694.4

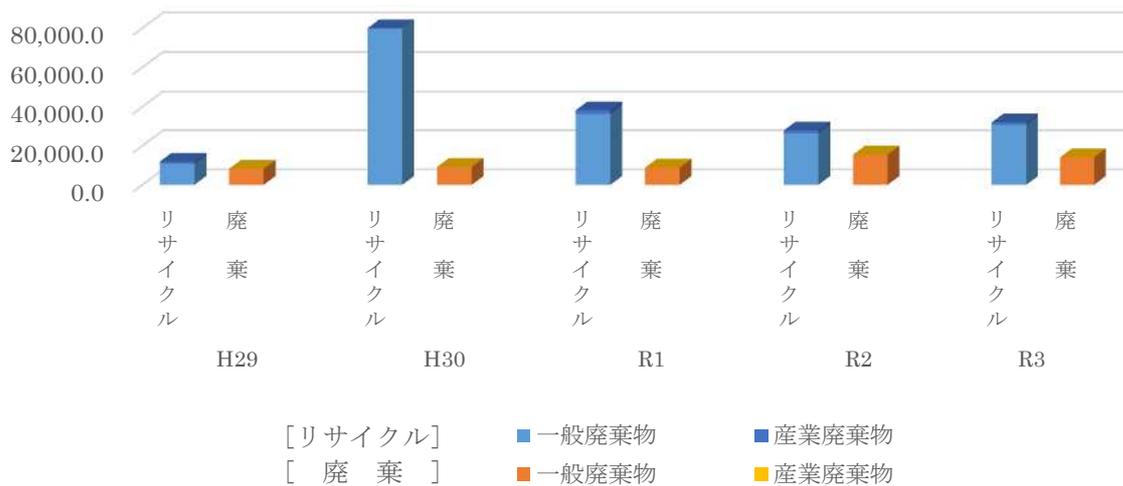
【保育園・幼稚園・こども園】廃棄物排出量 (kg)



【小学校・中学校】廃棄物排出量(kg)

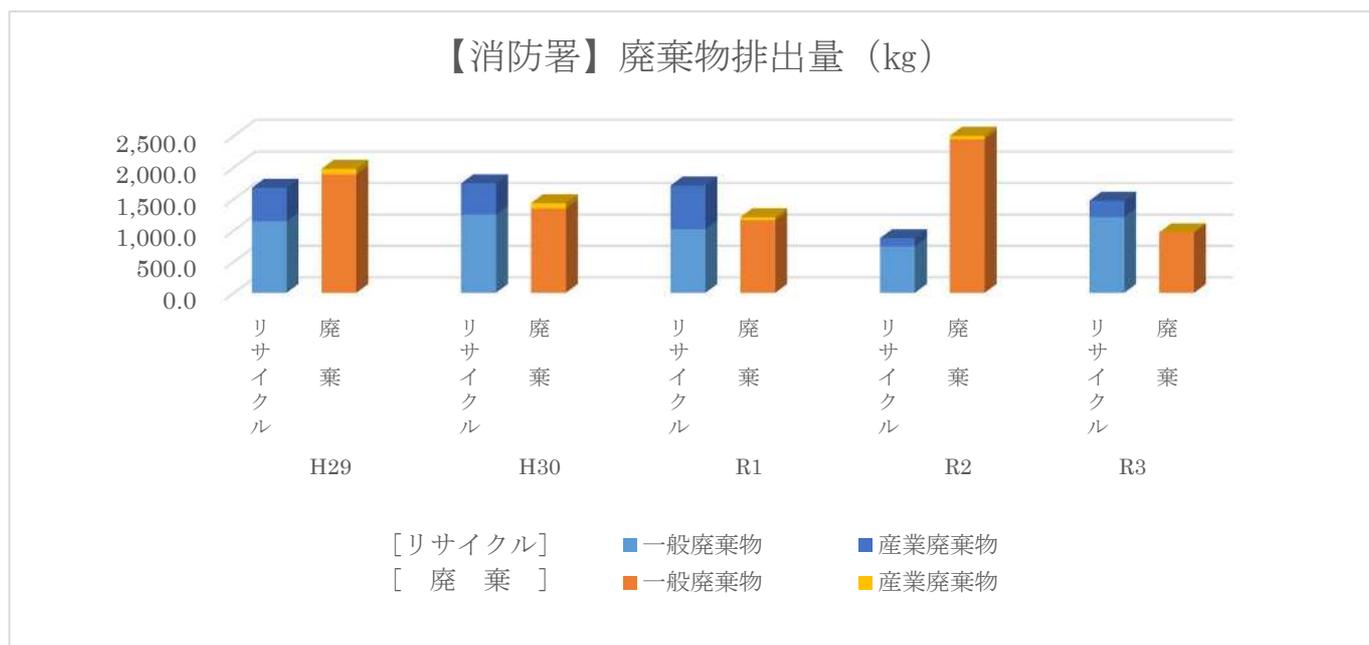
	種別	対応	H29	H30	R1	R2	R3
一般廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	666.4	388.0	349.0	439.0	0.0
	新聞紙	リサイクル	1,522.0	50,687.5	13,982.3	11,235.1	12,741.9
	段ボール	リサイクル	3,457.0	15,269.5	7,569.5	5,407.1	5,364.0
	雑誌	リサイクル	1,686.7	1,550.0	7,735.8	5,092.4	7,450.4
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	1,727.9	20,964.6	3,866.3	3,760.1	4,255.8
	守秘義務文書	リサイクル	937.2	791.1	1,249.2	453.7	1,017.4
		廃棄	60.0	390.0	300.0	2,470.0	3,340.0
	粗大ごみ	リサイクル	290.0	4.4	456.4	0.0	0.5
		廃棄	423.0	1,000.0	1,160.0	2,560.0	2,720.6
	その他	リサイクル	490.5	2,545.1	1,064.4	14.6	23.8
廃棄		752.7	5.7	20.0	455.2	840.7	
可燃ごみ	廃棄	6,967.5	7,789.2	7,287.3	9,982.3	7,238.3	
産業廃棄物	金物類	リサイクル	436.9	363.2	1,084.5	624.8	366.9
	ガラス類	リサイクル	108.0	64.2	135.9	87.8	115.8
	ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	422.2	355.9	654.2	611.1	601.4
	蛍光灯	リサイクル	89.0	77.4	39.9	79.1	29.8
計	リサイクル		11,833.8	93,060.9	38,187.4	27,804.8	31,967.7
	廃棄		8,203.2	9,184.9	8,767.3	15,467.5	14,139.6

【小学校・中学校】廃棄物排出量 (kg)



【消防署】廃棄物排出量(kg)

	種別	対応	H29	H30	R1	R2	R3
一般廃棄物	白紙(コピー用紙)	リサイクル	289.8	348.7	156.9	29.2	291.9
	新聞紙	リサイクル	245.2	227.6	192.3	163.2	198.6
	段ボール	リサイクル	296.2	280.0	220.1	167.1	354.4
	雑誌	リサイクル	170.8	158.7	314.9	234.8	217.7
	雑紙(ザツガミ)	リサイクル	141.4	235.3	130.5	102.8	146.3
	守秘義務文書	リサイクル	0.0	0.0	0.0	30.2	0.0
		廃棄	0.0	76.7	0.0	108.1	0.0
	粗大ごみ	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃棄	420.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	その他	リサイクル	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0
廃棄		41.6	21.3	0.0	0.0	0.0	
	可燃ごみ	廃棄	1,423.1	1,234.6	1,159.3	2,334.6	966.2
産業廃棄物	金物類	リサイクル	125.9	63.9	283.7	23.7	130.3
	ガラス類	リサイクル	63.2	70.1	41.1	0.0	7.2
	ビニール・プラスチックごみ	リサイクル	262.0	238.1	251.7	107.6	123.3
	蛍光灯	リサイクル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ペットボトル	リサイクル	78.6	122.9	119.7	0.0	0.0
	医療系産業廃棄物	廃棄	90.2	85.9	49.6	76.9	0.0
計	リサイクル		1,673.1	1,745.3	1,710.9	872.4	1,469.7
	廃棄		1,974.9	1,431.0	1,208.9	2,519.6	966.2



## 6 環境経営計画と取組結果

御前崎市では環境経営目標を達成するために、重点的に取り組む項目を「共通取組」と「本来業務に即した環境取組目標」として挙げ、取組の徹底を図ります。

### 共通取組

省エネルギー	結果
◆ 昼光の利用による窓辺の消灯、昼休み若しくは職員不在時の室内フロア及び未使用の部屋やトイレの消灯など照明の適正管理を徹底して行う	○
◆ 離席時や長時間使用しない場合は、必ずノートパソコンのふたを閉じる。	○
◆ エレベーターの適正使用を徹底する。	○
◆ 冷暖房の設定温度は、冷房 28℃以上、暖房 20℃以下とする。	○
◆ 電化製品(テレビ・電気ポット等)は、必要最低限の使用にとどめるよう努める。	○
◆ ブラインドや窓などを調整し、自然光や風を利用する。	○
◆ クールビズ、ウォームビズを徹底し、使用電力を削減する。	○
◆ コピー機等の OA 機器は、使用後に省電力モードに切り替える。	○

省資源(用紙類の使用量削減)	結果
◆ 配布資料や事務手続書類を少なくする工夫をする。	○
◆ 両面印刷コピー、縮小印刷コピーを徹底する。	○
◆ 簡易な文書は、電子媒体を利用しペーパーレスに努める。	○
◆ ポスター・カレンダー等裏面が活用できる紙は、可能な限り利用する。	○

節水、水の有効利用	結果
◆ 公用車の洗車は必要最小限に留める。	○

廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	結果
◆ 使用済み封筒を再利用する。(個人情報に注意して)	○
◆ 分別回収ボックスを適正に配置し、ごみの分別を徹底する。	○
◆ 雑紙のリサイクルを推進し、紙ごみの分別を徹底する。	○
◆ 詰替製品の利用や備品の修理等を行い、製品の長期使用に努める。	○
◆ コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルを進める。	○
◆ 再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する。	○

交通に伴う環境負荷の低減	結果
◆ 「エコドライブ 10 のすすめ」(急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジンの停止等)を実践する。	○
◆ 複数で同一目的の出張がある場合は、公用車の相乗りをする。	○
◆ 省エネ・排出ガス削減と健康づくりのため、職員の徒歩・自転車通勤の実践をする	△
◆ 公共交通機関の利用に努める。	△

グリーン購入の推進	結果
◆ 事務用品は、再生品、再利用品又はリサイクルしやすい製品など環境に優しい製品を購入する。	○
事業、事務の効率化、合理化による取組	結果
◆ 各施設間における文書や荷物の受渡しに連絡棚を利用する。	○
環境への取組のための仕組み、体制の整備	結果
◆ 関係法令等の最新情報を常に確認する。	○
◆ 関係法令等の改正に対応する手順を作成する。	○
◆ 必要な場合、委託・協力会社等に対し、作業手順や運用基準が徹底されるよう配慮する。	○
化学物質対策	結果
◆ 屋外での除草剤、殺虫剤の使用を削減する。	○
職員の環境教育、環境活動の推奨等	結果
◆ 各部署における環境への取組を確認する。	○
◆ 地域のボランティア活動等に積極的に参加し、協力や支援を行う。	○
◆ 市民等に発送する文書に、環境に配慮する内容を記述し、市民等の環境意識の高揚を図る。	○
情報提供等	結果
◆ 外部から市への苦情・願末書を作成し、対応結果等を記録する。	○



連絡棚の活用



紙ごみの分別・雑紙のリサイクル

○R3年度 本来業務に即した環境への取組

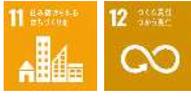
部名	課名	業務名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
総務部	総務課	広報事業	毎月「広報おまえぎ」を発行し、住民に行政情報などを発信している。 令和3年度は、環境に関する情報を掲載することにより、少しでも住民に環境への興味関心を持ってもらう。 ●広報紙発行部数 10,000部/月 ●配布方法 町内会回覧及びコンビニエンスストアなどへ配架	12.つくる責任つかう責任 	エネルギーに関する記事を毎号掲載した。	エネルギーに関する記事を毎号掲載した。特集記事がコンテンツにおいて優秀賞を受賞し、市民の関心を引く広報誌を作成した。	◎
			広報おまえぎで環境に関する事項を1回以上取り上げる				
			新築住宅建築に対して補助金を交付することで、新エネルギー・省エネルギー機器の導入による環境影響負荷の軽減を図る。	11.住み続けられるまちづくりを 	昨年度同様新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため各種イベントが中止となったため、ホームページ等非接触型のPRが主となった。補助金交付件数においても、コロナ禍における経済停滞の影響を受け前年度から減少したが、新エネルギー・省エネルギー機器の導入による環境影響負荷の軽減に寄与できていると考える。	上期同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため各種イベントが中止となったため、ホームページ等非接触型のPRが主となった。補助金交付件数においても、上期と同様に前年度から減少した（令和4年3月時点で53件）が、新エネルギー・省エネルギー機器の導入による環境影響負荷の軽減に寄与できていると考える。	○
総務部	企画政策課	移住・定住の推進	定住促進住宅取得補助金交付件数：80件				
総務部	エネルギー政策課	新エネルギー・省エネルギー機器等の導入促進	新エネルギー・省エネルギー機器を設置する者に対し補助金を交付することにより、環境への負荷の少ないエネルギーの利用を促進し、地球温暖化の防止及び資源の有効利用を図る。	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	補助金交付実績 ・太陽光発電システム 3件 ・家庭用蓄電池 5件 ・太陽熱利用システム 3件 補助金の交付を受けて設置した機器等による二酸化炭素排出量削減効果 6,706.2kg-CO2	補助金交付実績 ・太陽光発電システム 25件 ・家庭用蓄電池 23件 ・太陽熱利用システム 2件 ・クリーンエネルギー自動車 1件 補助金の交付を受けて設置した機器等による二酸化炭素排出量削減効果 26,849.48kg-CO2	○
			補助件数 太陽光発電システム 32件、家庭用蓄電池 25件、太陽熱利用システム2件、家庭用燃料電池2件、クリーンエネルギー自動車3件 補助金の交付を受けて設置した機器等による二酸化炭素排出量削減効果 34,824.06kg-CO2				

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
総 務 部	財 政 課	エ コ オ フ イ ス の 実 施	<p>・公共施設マネジメント主幹課として、管理施設の節電等の啓発活動を行う。</p> <p>・情報推進主幹課として、財政課内の起案文書や回覧文書をペーパーレス化して</p> <p>く。</p>	<p>7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>①デマンド監視ついて超過する恐れがあるときは、事前の呼びかけ等により目標である電力需給量を超えることなく完了した。(夏季が長雨で比較的冷夏でもあった)</p> <p>②10月中旬に図書館現在の電力使用量を測定。工事完了後(1月辺り)に再度測定する。また、省エネレポートを施設所管課に提供した。</p> <p>③文書起案・回覧は極力電子の活用を心掛けることができた。併せて、テレワークを積極的に活用し、出勤に係る二酸化炭素削減にも貢献できた。</p>	<p>①デマンド監視ついて超過する恐れがあるときは、事前の呼びかけ等を行ったが、目標には届かなかった。ただし、前年比較では低下している。</p> <p>本庁 実績：190k w→185k w 目標：180k w</p> <p>西館 実績：126k w→122k w 目標：100k w</p> <p>②工事完了後(3月)の測定を行った。効果測定が取りまとめ次第、報告する。</p> <p>③文書起案・回覧は極力電子の活用を心掛けることができた。併せて、テレワークを積極的に活用し、出勤に係る二酸化炭素削減にも貢献できた。</p>	○
				<p>①本庁・西館庁舎のデマンド監視を行い年間を通し、常に下記の電力需給量超えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁 180k W</li> <li>・西館 100k W</li> </ul> <p>②節電等の啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力使用量の公表</li> <li>・LED照明化による効果測定</li> </ul> <p>③文書や資料の回覧・起案は、グループウェアや文書管理システムを活用し、紙での保存・印刷を最低限とする。(プリンタを極力使用しない)</p>			
総 務 部	税 務 課	申 告 ・ 課 税 業 務	<p>市民に電子での確定申告及び償却資産申告の周知を行い、電子申告の件数を増加させる。</p>	<p>9.産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>10.人や国の不平等をなくそう</p> <p>11.住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>・窓口に電子申告のパンフレット設置(通年)</p> <p>・通知等を発送する際に、償却資産電子申告の案内を同封(通年)</p>	<p>・申告会場で職員による電子での確定申告の説明及び案内ポスターの掲示</p> <p>・広報誌による電子申告の案内</p> <p>・確定申告：市会場での総申告数2,335件のうち電子申告1,362件(58.3%)</p> <p>・償却資産申告：総申告数2,114件のうち電子申告数840件(39.7%)</p>	◎
				<p>【確定申告】</p> <p>申告会場での電子申告数</p> <p>R2年分：1,380件→R3年分1,449件(5%増)</p> <p>【償却資産申告】</p> <p>電子申告R3年度分：809件→R4年度分850件(5%増)</p>			

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
危機 管理 部	危機 管理 課	備蓄 計画 に 基 づ く 備 蓄 品 の 購 入 と 更 新	食品ロスについて各種講習会等で説明し、理解と協力を得る。 災害時対応用備蓄食料及び備蓄飲料のうち、保存期限の近いものの有効活用として、各方面隊及び自主防災会やフードバンクに配布し、有効活用していただく。	2.飢餓をゼロに 12.つくる責任つかう責任 	9月に計画していた総合防災訓練が中止となり、訓練時に配布予定であった消費期限の近い備蓄食料の配布が出来なかった。 防災講座・防災説明会などで備蓄食料等の配布を行ったが、規模縮小、参加人員の制限などにより、予定より少量の配布となった。	毎年11月に行われている「御前崎市大産業祭」が中止となり、配布予定であった備蓄食料について廃棄処分した。 フードバンクに、消費期限の近い備蓄食料の配布を行なった。	○
			備蓄食料等については計画的に対応し、食品ロス「ゼロ」を目指す。				
市民 生活 部	市民 課	個人 番号 カード 交 付 事 務	個人番号カード交付事務を通じて、各種証明書のコンビニ交付サービスや電子申請サービスを促進し、住民サービス向上を実現する。	9.産業と技術革新の基盤をつくろう 10.人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを 	○個人番号カード交付 交付枚数 4月～9月 3,702枚 交付率 36.2% 申請サポート 対応人数 144人 ○コンビニ交付サービス各種証明書交付数 778通 マイナポイント事業の影響により、マイナンバーカードの交付枚数及び交付率が伸びたため、コンビニ交付サービス利用数も自ずと増加した。	○個人番号カード交付 交付枚数 10月～3月 1,551枚 交付率 41.9% (3月15日現在) 申請サポート 対応人数 660人 (10月～3月15日) ○コンビニ交付サービス各種証明書交付数 950通(10月～2月末) コンビニ交付サービスの利用数が増加傾向である。	◎
			○個人番号カード交付 交付枚数年間1,500枚 交付率 28.7% ○コンビニ交付サービス各種証明書交付数 年間 1,000通				
御前 崎 支 所	窓 口 業 務	①昼12時から13時までの間、ロビー照明を部分的に消灯する。②日の採光により必要がない照明は消灯する。	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	支所・消防白羽出張所・地域包括支援センターでの使用電力の節電目標について、関係部署と協力して省エネルギーに取り組み前年度比より平均21%節電に努めた。	支所・消防白羽出張所・地域包括支援センターの電力使用の前年度比較(10月から3月)として、前年度より5%増になった。寒い時が続く室内温度の低い日が続く使用が増した原因と思われる。	○	
			前年度の使用電力期間の電気量よりマイナス3%の節電に努める。				

部名	課名	業務名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
市民生活部	環境課	清掃事業	一般廃棄物の処理量を削減するため、事業者へ聞き取り指導を行ったり、収集運搬業者へ適切な運搬を指導したりする。 また、市民に対してもごみの削減をPRする。	12. つくる責任つかう責任 	出前講座と事業所への聞き取りは新型コロナウイルス感染対策のため中止した。下期に実施できるように計画をした。 平成30年における1人当たりのごみ排出量は941g 前年度からの目標値939gには届かなかった。	出前講座を合計5回実施した。(町内会4回、農協女性部1回) 事業者への聞き取りは合計5回実施した。 事業者・市民に対しごみの適正な分別と減量及び処理について指導・周知を行うことができた。	○
				一人当たり一日のごみ排出量 前年度比マイナス1%			
市民生活部	上下水道課	衛生環境向上	合併浄化槽の普及推進	6. 安全な水とトイレを世界中に 	合併処理浄化槽設置費補助金【通年】 4月～9月 計 73基 広報おまえざき6月に掲載	合併処理浄化槽設置費補助金【通年】 課窓口にてパンフレットの配布【通年】 合併処理浄化槽24基設置	◎
				・合併浄化槽85基設置 ・市の広報誌に普及推進記事を掲載 ・課窓口にてパンフレットの配布			
健康福祉部	福祉課	生活保護業務	新規申請者で家電製品がない方に対して、家電製品をリユースすることで費用を削減する。	3. すべての人に健康と福祉を 	該当期間に相談を受けたケースで家電製品がなく、困っているケースはなかった。また、再利用できる家電もなかった。家電のリユースの他にはフードドライブを8月に実施し、食品ロスに務め153kgの食品が集まった。	在宅生活者1名が施設入所となった為、電子レンジ、炊飯器、冷蔵庫を処分せず、再利用の為、引き上げた。フードドライブについては1月に実施し約175kgの食品が集まった。	○
				死亡、施設入所等に伴う不要な家電製品が発生する為、使用可能な家電製品を処分することなくリユースする。			
健康福祉部	こども未来課	窓口業務	口業務での接客時間の短縮を図り、勤務時間全体の短縮に努め、エネルギー消費量を減らす	11. 住み続けられるまちづくりを 	【通年】他係の手続きがある場合は、早急に情報共有し、事前準備を行った。手続きの概要、必要書類等の資料を作成し活用した。	【通年】他係の手続きがある場合は、早急に情報共有し、事前準備を行った。頻度の高い手続きについては、手順や注意事項をまとめた資料を窓口配置した。	◎
				窓口での接客時間を業務時間内に終了する ・窓口説明の効率化 ・他係の手続きがある場合は課内で情報共有をし、効率的に対応する。			

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
健康福祉部	高齢者支援課	介護予防運動指導士の養成	介護予防のための運動を市民単位で普及するために、転倒予防教室を実施できるボランティア（介護予防運動指導士）を養成するとともに、介護予防の普及啓発に努める。	3.すべての人に健康と福祉を 	4月から養成講座の広報・募集を開始し、6名の申込があった。9月末から講座の開講を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により9月末からの開始はできなかった。	緊急事態宣言が解除された10月より講座を開講。12回の講座を10回に変更したが、申込者6名全員が参加し修了することができた。目標人数には達しなかったが、全員が介護予防運動指導士として活動することとなり、認定者数は延べ240人となった。	◎
				・1クール12回の養成講座を実施 ・介護予防運動指導士認定者総数245人			
健康福祉部	健康づくり課	自ら健康管理ができる環境づくり	栄養、食生活、検診等の情報を通知、広報誌やSNS、音声告知等で市民に周知する	3.すべての人に健康と福祉を 	・広報おまえざき健康情報（2回） 4月号：がん検診 7月号：健康マイレージおまえざき ・通知（通年） がん検診保健指導、予防接種の対象者宛に受診票を送付。	・広報おまえざき健康情報（2回） 10月号：感染症予防 1月号：出前講座 ・通知（通年） がん検診保健指導、予防接種の対象者宛に受診票を送付。 ・SNS 市公式LINE投稿 8月：熱中症予防 12月：U-39健診	◎
				広報おまえざき健康情報(年4回) 地産地消レシピ(年12回) がん検診等検診や保健指導の案内を通知する（胸部、婦人科、胃大腸、総合がん、肝炎、前立腺、骨粗鬆症、障がい者） 予防接種案内通知を発送(新型コロナウイルス、肺炎球菌)			
建設経済部	建設課	公共工事	建設工事等で発生する建設副産物が適切に処分されているか、調査・監督する。	11.住み続けられるまちづくりを  12.つくる責任つかう責任 	抽出する2工事に限らず建設副産物が発生する全ての工事において、建設副産物の適切な処分及び再利用の呼びかけを行い意識の高揚を図った。	建設副産物が発生する全ての工事において、適切な処分を確認した。  【対象工事】 14工事/14工事	◎
				建設副産物が発生する工事から2工事を抽出し、処分が適切に行われているかを現地にて調査・監督し、必要に応じて請負業者へ指導する。			

部名	課名	業務名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
建設経済部	都市政策課	安全・快適なまちづくりの推進	・リフォーム及びTOUKAI-0事業のPR(戸別訪問、DM発送)・空家等の解消(利活用の促進、適切な管理の通知)	11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任つかう責任 	・リフォーム支援事業の促進:実績75件 ・TOUKAI-0事業の促進:4件 ・空家の利活用促進:掲載件数1件 解消0件	・リフォーム支援事業の促進:75件 ・TOUKAI-0事業の促進:5件 ・空家の利活用促進 掲載件数4件 解消1件  ※評価については、各項目の平均で算出(71%)	○
				・リフォーム支援事業の促進:目標74件・TOUKAI-0事業の促進:目標7件・空家の利活用促進:目標掲載件数5件、解消件数3件			
				11.住み続けられるまちづくりを 			
令和2年度印刷枚数を5%削減							
建設経済部	農林水産課	自然環境の保全	市民組織と協働で飛砂防備保安林等の保全に取り組む。	15.陸の豊かさを守ろう 	・薬剤散布 55ha実施	・海岸清掃 中止 ・植樹ボランティア 10月90人 2月66人 合計156人/年 ・堆砂垣 3.3ha実施	○
				海岸清掃 300人/年 植樹ボランティア 200人/年 海岸林整備58.3ha (薬剤散布55ha、堆砂垣3.3ha)			
建設経済部	商工観光課	海岸漂着物清掃事業	海岸漂着物などの定期的な除去など管理を進め、美しい海岸を維持する活動を行う。	14.海の豊かさを守ろう 	ボランティアが清掃した海岸漂着物の回収支援を実施した。 月1回(2箇所)	ボランティアが清掃した海岸漂着物の回収支援を実施した。 月1回(2箇所)	○
				海岸漂着物などの定期的な清掃活動の支援を行う。 (月1回程度)			

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
	会計課	経理・検査業務	経理・検査業務において、伝票の返却数と紙の使用量が多いため、伝票起案のチェックポイント等を職員に提示し、起票誤り及び紙の使用量を削減する	12. つくる責任 つかう責任 	監督員研修会を実施した (6/29)	係長級職員向けに財務会計決裁事務の説明会を実施した(10/8) 新規採用職員向けの建設工事現場説明会を実施した(12/6) 新型コロナウイルス蔓延のため起票事務説明会の開催を見送り、その代わりに起票事務の手引きの改定を行った。	◎
	議事事務局	会議の運営	定例会、臨時会、委員会における資料内容の精査を行い、用紙使用量を削減する。	12. つくる責任 つかう責任  用紙使用量 103,000枚	44,474枚使用 前年度比10,825枚減 (-20%)	44,075枚使用 前年度比7,235枚減 (-14%) 年間計88,549枚使用	◎
	監査委員事務局	監査業務	監査資料の内容を精査し、印刷枚数を削減する。	12. つくる責任 つかう責任 15. 陸の豊かさも守ろう   用紙使用量 16,000枚	6,791枚使用 前年度比2,619枚減 (-28%)	4,144枚使用 前年度比1,710枚減 (-29%) 年間計10,935枚使用	◎
教育部	教育総務課	配付資料の節減	教育委員会等の配付資料を節減する。	15. 陸の豊かさも守ろう  5枚/回×12ヶ月×5人=300枚	23枚(6回分)×5人=115枚	35枚(6回分)×5人=175枚 年間合計290枚  議題により、資料が多い月もあったが、目標より10枚少ない年間合計枚数となった。	◎
	学校教育課	学校教育	今まで作成していた通知書等に職印が必要か、あるいは個人宛ではなく一覧表でも可能か等検討し、紙媒体をできるだけ減らすようにする。	11. 住み続けられるまちづくりを  紙媒体での書類の発行を810枚から約半分の400枚程度に減らす。	各種研修会の開催通知を共通文書にしたり、配布資料等をクロームブックの電子データで共有したりしたため、上期332枚削減。	配付資料を電子データで共有したり、新型コロナウイルス感染拡大防止で研修会が中止になったりしたため、下期369枚削減。	◎

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
教育部	社会教育課	生涯学習講座	①生涯学習講座は、各公民館等で企画募集しているが、情報を集約すること、紙資源削減のため、パンフレットにとりまとめる。 ②地域の子供たちへ地域の資源魅力を伝えることで、地域に興味をもち愛着と貢献意欲を育てる	13.気候変動に具体的な対策を 14.海の豊かさを守ろう 15.陸の豊かさを守ろう 17.パートナーシップで目標を達成しよう 	①R3後期版ガイドブック作成・配布(3,000部) ②地域の海や山、生き物に触れ、体験活動としてビーチクリーンを実施した。	①R4前期版ガイドブック作成・配布(2,000部) R4前期版ガイドブックダイジェス版作成配布(1,000部) ②地域の海や山、生き物に触れ、自然体験活動として竹林整備を実施した。	◎
			①講座パンフレット発行 上期4月下旬8月配布 ②御前崎クエストへの参加者(親子de御前崎クエスト)(小中プログラム小中学生49名)(大人の自然体験プログラム)				
			図書館の収蔵スペースにも限りがあるため、利用されなくなった古い資料等を毎年除籍している。処分する本は、表面にビニールがかけてあり、リサイクル不可なため、可燃ゴミとしての取り扱いとなる。そこでリサイクルイベントを実施し、廃棄した本の再利用(図書館利用者、市内各園等の関係施設へ)を図る。	13.気候変動に具体的な対策を 	蔵書状況・利用状況に応じて除籍作業を行った。	リサイクル・ブック・フェアを2月に実施した。例年2日間のイベントだが、感染対策により、R2年度に引き続き、期間を延長して約1ヵ月実施。 最終的な廃棄数量… 1,832kg 廃棄冊数…3,969冊 リサイクル率…68.1%	○
濱岡給食センター	残菜量の削減	給食材料の適正な発注と残菜量の削減	12.つくる責任つかう責任 	毎月教育委員会事務協連絡会議において、園・学校別の残菜量を報告した。また、給食数に応じ適正な給食材料を発注した。	毎月教育委員会事務協連絡会議において、園・学校別の残菜量を報告した。また、食品ロス月間に合わせ、給食だよりを活用して残菜量の削減の周知を図った。	○	
		残菜量6,000kg以下					
御前崎給食センター	残菜量の削減	給食材料の適正な発注と残菜量の削減	12.つくる責任つかう責任 	毎月教育委員会事務協連絡会議において、園・学校別の残菜量を報告した。また、給食数に応じ適正な給食材料を発注した。	毎月教育委員会事務協連絡会議において、園・学校別の残菜量を報告した。また、食品ロス月間に合わせ、給食だよりを活用して残菜量の削減の周知を図った。	○	
		残菜量4,000kg以下					

部名	課名	業務名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
地区センター	池新田地区センター	貸館業務	電気使用量の削減	12. つくる責任 つかう責任 	利用者に節電の呼びかけや掲示等で啓発を行ったが、電気使用量の削減ができなかった。	利用者に節電や消し忘れの呼びかけを行ったが、電気の消し忘れ等があり、周知が不十分であった。	○
		貸出時に環境取組について周知する。昨年の同月より電気使用量を2%削減する					
	高松地区センター	エネルギーの保全	地区センター利用者へ啓発活動を行い、一人ひとりの意識改革をし無駄なエネルギーを減らすことに繋げる。	12. つくる責任 つかう責任 	掲示等で啓発はしているが不十分である。使っていない場所の電気が付けっ放しになっている。	掲示等で啓発はしているが不十分である。トイレ換気扇の消し忘れなどあり、直接声掛けを行った。	○
	佐倉地区センター	貸館業務	施設利用者への環境取組の周知	12. つくる責任 つかう責任 	使用日誌や掲示等で電気やエアコンの消し忘れがないよう周知した。	電気の消し忘れが数回あり、利用者への周知不足を感じた。	○
			エアコンの適正温度での使用を依頼し、電気料を削減				
比木地区センター	環境活動の啓発	利用者が多くなるように各講座や教室の充実を図り、その中で多くの地域住民にエコアクションについて啓発活動を行う	4. 質の高い教育をみんなに 10. 人や国の不平等をなくそう 	コロナ関係でできない教室もあったが、できる範囲で行った。	新たな教室を行うことができたので、併発活動も出来た。	○	
	朝比奈地区センター	貸館事業	○安心・安全で使いやすい地区センターにする ・日常清掃の実施 (ゴミの分別、資源の有効活用) ・新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・消防法に定められた避難誘導訓練等の実施 ・地区センター敷地内の除草等の実施	11. 住み続けられるまちづくりを 	・日常の清掃 ・コロナ対策 利用者をお願いしているが、おおむね実施された。 ・避難誘導訓練 9月実施 ・除草作業 6回実施	・日常の清掃 ・コロナ対策 利用者をお願いしているが、おおむね実施された。 ・避難誘導訓練 2月実施 ・除草作業 2回実施	○
			・日常清掃：毎日始業前の清掃 ・新型コロナウイルス感染症対策：体温測定、手指消毒アルコールの設置、机・イス等の消毒の実施 ・避難誘導訓練：年2回の実施 ・敷地内除草等の実施：年9回の実施				

部名	課名	業務名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
地区センター	新野地区センター貸館事業	新野地区センター	○安心・安全で使いやすい地区センターにするため ・日常清掃の実施 ・定期清掃の実施 ・新型コロナウイルス対策の実施 ・消防法に定められた避難誘導訓練等の実施 ・地区センター敷地内の除草等の実施	11.住み続けられるまちづくりを 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常清掃【通年】</li> <li>・定期清掃：月2回</li> <li>・新型コロナウイルス対策【通年】</li> <li>・除草作業：月1回</li> <li>・避難誘導訓練：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常清掃【通年】</li> <li>・定期清掃：月2回</li> <li>・新型コロナウイルス対策【通年】</li> <li>・除草作業：月1回</li> <li>・避難誘導訓練：1回</li> </ul>	○
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常清掃：毎日始業前の清掃</li> <li>・定期清掃：月2回の定期清掃</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策：手指消毒アルコールの設置、机・イス等の消毒の実施</li> <li>・避難誘導訓練：年2回の実施</li> <li>・敷地内除草等の実施：年9回の実施</li> </ul>			
地区センター	御前崎地区センター	事務作業業務	事務の迅速な処理とともに、コピー用紙等を削減する。	12.つくる責任つかう責任 	R2年度の可燃物のゴミは計量をしていなかったため比較ができないが、利用者にゴミを持ち帰りしてもらうなど声掛けをした。	R2年度の可燃物のゴミは計量をしていなかったため比較ができないが、利用者にゴミを持ち帰りしてもらうなど声掛けをした。	○
				コピー用紙使用枚数 20,000枚			
地区センター	白羽地区センター	センターの施設管理	冷暖房、照明等電気使用の適正管理の為、張り紙や口頭での周知、消し忘れチェックを徹底する	13.気候変動に具体的な対策を 	夏場、コロナ禍の為換気をしながらのエアコン使用や、防カビ対策のドライ使用で電気使用量が達成できない面があった。	啓発活動等で利用者の意識の高まり、職員も意識し取り組み、電気使用量の削減につながっている。	○
				適正な設定温度での冷暖房使用、照明器具の適正使用の徹底を図り、電気使用量前年比2%の削減につなげる			
幼保こども園	池新田幼稚園	エネルギー消費	電気、水道の使い方を職員全員で再確認し、節電節水をする。	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	・4、5月は増加したが、他の月は1%減が達成できた。	・誰もいない保育室でもヒーターがついていることがあり反省。 寒い日が続く、前年度比1%減を達成できない月があった。(10月11月12月)	○

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
幼 保 こ ど も 園	高 松 幼 稚 園	ゴ ミ の 分 別	・ゴミの分別の仕方が変わる為、園児・職員がゴミの捨て方について覚えていけるようにする。一人一人が意識をして行っていく事で、ゴミの量の削減を目指す。	12.つくる責任つかう責任  可燃物の量、月平均20kgを目指す	・笠名へのごみの搬入が減り、園で出すゴミの量が増えたため、目標達成が難しかった。特に草木が多い。天日干しをしてからゴミへ出すよう周知した。	・子どもたちの出すゴミの量は、目標を達成できていたが、片付けや掃除等で、ゴミが多く出てしまい、目標達成が難しかった。可能なものはリサイクルに回す等、心掛けられるようにする。	△
			ゴミの分別の仕方が変わるため、園児、職員がゴミの捨て方について覚えていけるようにする。また、ゴミの分別を丁寧に行い、リサイクル活動推進を行う	12.つくる責任つかう責任  燃えるゴミ前年度比1%減を目指す 廃材利用の推進 リサイクル活創推進	・今年度、一つクラス増え、ゴミの量が増えてしまった。リサイクルできるものや廃材として利用できるものは使うなど職員に心掛けるように伝えた。	・可能なものはリサイクルしたり、廃材として利用したりと職員だけではなく、子どもと一緒に心掛けてきたが、ゴミの出し方も変わり、目標を達成することは難しかった。	△
	白 羽 幼 稚 園	ゴ ミ の 削 減	園で使用している全ての照明器具、エアコンなどの消費電力を抑制させる。	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	・消費電力を抑制できるようこまめな節電に心掛けたが、梅雨が短く暑い日が多かったため、クーラーを使う時間が長くなり、昨年度よりも消費電力が多くなっている。 ・エアコンのこまめな掃除、点検など職員に声かけをしている。	・コロナ禍のため、24時間の消毒を行ったり、換気しながら暖房を使ったりしていたことで、消費電力が多くなったと考える。廊下の電気が日中もついている時もあり、反省。職員の意識を高めていけるよう声かけをしていく。	○
				前年度比の1%削減による二酸化炭素の削減			
さ く ら こ ど も 園	リ サ イ ク ル	リサイクル収集	12.つくる責任つかう責任  リサイクル業者の収集を6回行う。 リサイクル活動の意味を職員・保護者に周知し令和2年度より収集量を増やす。	・全保育室にリサイクルボックスを置き、紙のリサイクルについて子どもたちにも分かりやすく伝えた。職員にも裏紙の使用を推進して紙の使用量を減らし、必要なくなった紙は業者に回収してもらい昨年度よりも回収量が増えた。	・リサイクルへの意識と意欲を高められるように、回収毎、収益がどのくらいあったのか職員に周知した。 ・会議などの印刷物はできるだけ両面印刷をし、紙の使用量を減らした。	○	

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
幼 保 こ ど も 園	北 こ ど も 園	リ サ イ ク ル 活 動	・リサイクル活動推進、リサイクルでの購入目標の掲示、環境教育の推進、職員のリサイクルへの関心の強化	12.つくる責任つかう責任 	保護者参加の園内リサイクルを毎月1度回収から学期に1度の回収に変更したが、その代わりにいつでも園で受け付けるようにしたところ、毎日の送迎ついでに段ボール等持ってきてくれる姿があり、回収量増加につながった。	全部の保育室に紙ごみを集める専用のリサイクルボックスを置いたことで、園児もリサイクルに参加することができ、園児、職員、保護者が協力してリサイクル活動を行うことができた。また地域の方々の協力も得られたのだが、目標の5万は達成することができなかった。	△
			・園内リサイクル活動で合計5万を目標とする ・購入目標物(4月記入) ・家庭、地域などに活動を知らせ、リサイクル参加者を増やす				
幼 保 こ ど も 園	御 前 崎 こ ど も 園	保 育 ・ 教 育	日々の保育・業務の中で節電を意識し、園児が遅番保育室に入ってから、できるだけ早く環境の準備をし保育室の電気を消したり、職員室で事務仕事をしたりする。また、エアコン設定温度など共通理解して適切に使用していくことで、消費電力を削減する。	4.質の高い教育をみんなに 	・職員全員で環境への取り組みができるように、御前崎市で行っているエコアクションや節電方法などの周知を行い共通理解に努めたことで、職員全員が節電やごみの分別、リサイクルへの意識を持って生活ができた。子どもたちにもごみの分別、使用後の紙はリサイクルボックスへ入れるなどの指導を行ってきた。リサイクルへ回す量は増加したが、ゴミの排出量が昨年度より上回ってしまった。 ・ミニリサイクル、資源回収を実施した。	・寒くなってきて、暖房や温水を使用するようになった。コロナ対策のため、消毒、喚起をしながらの暖房使用のため、ゴミの排出量や消費電力が昨年よりも多くなってしまった。子どもが安心して生活することを第一に、その中で節電、ゴミの削減に繋がる方法を考えていくようにしたい。 ・ミニリサイクル、資源回収を実施した。	○
			PTA活動のリサイクルを実施する中で、子どもたちにも日々、ゴミ分別の方法がわかりやすいように表示をしたり、リサイクル活動など環境に優しい生活が出来るように指導したりしていく。	節電 前年度比1%減 リサイクルの実施 ごみ分別			
小 中 学 校	浜 岡 中 学 校	学 校 教 育	①生徒への教育活動 ②資源リサイクル活動 ③学校施設管理	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	①使用紙の削減を呼び掛けた。 ①枚数が多い場合は、コストを考慮して印刷機を使用ようにした。 ②ごみ分別を意識して行い、リサイクルできるものはリサイクルするよう心掛けた。 ③日常の節電。	①使用紙の削減を呼び掛けた。 ②ごみ分別を意識して行い、リサイクルできるものはリサイクルするよう心掛けた。 ③日常の節電。	○
			①教材用紙(ワークシート)、会議用紙等の削減 ②ごみの分別作業の徹底 ③電気使用量の削減				

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
小 中 学 校	御 前 崎 中 学 校	教 育	学校教育目標「思いやる」のもと、「自他ともに思いやる生徒」の育成を目指し、学校教育活動全体を通して、「自ら判断し、行動する力」と「他と良好な関係を構築して協働する力」を身につけさせる取組を実施している。	12.つくる責任つかう責任 	資源回収活動【4月】 海岸清掃の実施【5月】 アルミ缶回収活動	資源回収活動【11月】 資源回収活動の代替えとして校内にコンテナを設置【2月】 アルミ缶回収活動	○
			G I G A スクール構想により貸与されたChromebookを活用して、生徒・保護者に配布する文書や職員の会議資料等を削減された。	Chromebookを活用して、生徒・保護者に配布する文書や職員の会議資料等が削減された。	Chromebookを活用して、生徒・保護者に配布する文書や職員の会議資料等が削減された。		
			G I G A スクール構想により貸与されたChromebookを活用して、生徒・保護者に配布する文書や職員の会議資料等を減らし、年間予算の3万削減を目指す。				
小 中 学 校	第 一 小 学 校	環 境 教 育 の 充 実	・緑の少年団活動による海岸清掃の実施 ・学校設置の太陽光発電を利用した、環境意識の醸成 ・総合的な学習におけるエネルギー教育の実施 ・教員による、節電・節水の呼びかけと実施 ・アルミ缶回収	12.つくる責任つかう責任 	アルミ缶回収活動【通年】 ・リサイクルコンテナ常設【通年】  ・資源回収【5月】 ・御T活動によるアルミ缶や資源回収	・アルミ缶回収活動【通年】 ・リサイクルコンテナ常設【通年】 ・みどりの少年団活動による自宅周辺清掃活動実施【11月】 ・資源回収【12月】 ・原子力発電所見等によるエネルギー教育の実施 ・登校班による通学路清掃【3月】	○
			・印刷ではなく、PCデータによる周知の推進 ・ミスプリントの削減 ・リサイクル活動の推進	12.つくる責任つかう責任 	・学校ホームページを活用したペーパーレスの推進 ・リサイクルボックスを設置し、白紙裏面の利用 ・資源回収活動（6月） ・リサイクルコンテナの常設	・学校ホームページを活用したペーパーレスの推進 ・リサイクルボックスを設置し、白紙裏面の利用 ・資源回収活動（12月） ・リサイクルコンテナの常設	○
	浜 岡 東 小 学 校	紙 使 用 量 の 削 減 と リ サ イ ク ル 活 動	・印刷用紙の使用量の削減R2年度の90%の購入量を目指す ・リサイクルによる収益量の増、R2年度比+5%を目指す				○

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
小 中 学 校	浜 岡 北 小 学 校	教 育 事 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別について各学級で指導</li> <li>・ごみの分別や処分にかかる費用や労力等についての学習(第4学年)</li> <li>・アルミ缶回収(地域貢献活動)の推進</li> <li>・各自ごみの持ち帰り(職員)</li> <li>・エアコン使用のルールを守り、使用を削減</li> </ul>	11.住み続けられるまちづくりを 	ごみ分別指導【通年】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ持ち帰り【通年】</li> <li>・アルミ缶回収【通年】</li> <li>・地域実践活動アルミ缶回収【7月】</li> <li>・エアコンの使用ルールを遵守</li> <li>・Chromebook、HP、絆メール等を活用して、児童・保護者に配布する文書や職員の会議資料等が削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別指導【通年】</li> <li>・ごみ持ち帰り【通年】</li> <li>・アルミ缶回収【通年】</li> <li>・地域実践活動アルミ缶回収【11月】</li> <li>・環境保全センターの見学等による環境教育の実施【11月】</li> <li>・エアコンの使用ルールを遵守</li> <li>・原子力発電所職員を講師に招きエネルギー教育の実施【2月】</li> <li>・Chromebook等を活用し、児童・保護者に配布する文書や職員の会議資料等が削減</li> </ul>	○
			全学級で環境教育へ取り組み、自分でできる環境にいい活動を考え、実行する。紙使用量(購入量)を削減していく。ペーパーレスの意識を高める。	12.つくる責任つかう責任 14.海の豊かさを守ろう  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アカウミガメ放流の際、海岸清掃を行った。</li> <li>・夏季のエアコン使用では、使用する部屋数をなるべく少なくした。</li> <li>・アルミ缶集め。</li> <li>・PTAリサイクル活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶集め。</li> <li>・可能な限り、裏紙を利用することを行った。</li> <li>・冬季のエアコン使用では、設定温度を下げたり、使用を控えたりした。</li> </ul>	○
			学校教育を通して、環境教育を推進する。	12.つくる責任つかう責任 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間において3、4、5年生で環境教育に関する内容を実施。</li> <li>・夏季のエアコン使用におけるこまめな温度設定およびオンオフの実施。</li> <li>・PTAリサイクル活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間の実践発表(12/3)</li> <li>・PTAリサイクル活動の実施(2回)</li> <li>・各教室から出たごみの計量と呼びかけの実施。</li> </ul>	○
	白羽小学校	環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や委員会活動を通して自分たちの身の回りの環境負荷を減らす取り組みを行うことで、環境への意識を高める。</li> </ul>				

部 名	課 名	業 務 名	取組内容	SDGS目標	環境経営計画		評 価
				令和3年度目標	上期実績 (4月～9月)	下期実績 (10月～3月)	
消 防 署	消 防 総 務 課	施 設 管 理	職員及び利用者へ節電の依頼	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	電気消費量は、本庁舎は目標達成出来ず、支所は計画より削減出来た。消費電力は職員の節電等で削減出来るため更なる対策が必要と感じた。	消費電力が暖房器具の使用のせいか目標より多くなっている。本庁舎及び支所の職員が節電により電気消費量を抑えるという考えを深めていく必要がある。 年間消費量 本庁舎175,027kw 支所166,932kw	○
			電気消費量を削減する 本庁舎5%カット 157,000Kw/年 支所10%カット 168,000Kw/年				
	消 防 本 部 予 防 課	火 災 予 防 ・ 立 入 検 査	立入検査時に、事業所や危険物施設関係者に火災予防意識の高揚を図るため、指導や広報活動を行う。	13.気候変動に具体的な対策を 	火災予防に事業所及び危険物施設に対し広報活動を実施。立入検査も予防係、危険物係も年間目標に応じ実施したかったがコロナ感染状況により立入検査が出来ない状態であった。	コロナ感染状況が低下したため立入検査を実施、年間目標以上の検査を実施した。春秋の全国火災予防運動では街頭広報を実施した。火災件数は14件となり目標より多い件数となったが更に広報活動を実施し火災予防に努めたい。	○
			火災減少によるCO2排出の抑制を図る。 立入検査 予防係 年間72施設 危険物係年間72施設 火災件数10件以下				
消 防 署	消 防 署	火 災 予 防	消防車両による管内巡回強化。火災発生件数の減少を目指し市民に更なる意識高揚を図る。火災減少による環境へのCO2排出の抑制を図る。	13.気候変動に具体的な対策を 	火災件数は前年度の同じ時期に比べ約133%の増加件数であった。増加の因果関係は不明だが今後も、減少するよう巡回や広報活動に努める。年度目標は達成されている。	火災件数は前年度同じ時期に比べ58%の減少となった。年度の総件数は令和2年度が15件、令和3年度が12件と減少している。乾燥した季節の巡回広報の効果が出たと感じる。今後も減少するよう火災広報に努める。年度目標は達成できた。	◎
			火災発生件数が多い乾燥した季節に集中させ巡回する。年間100回巡回				
消 防 署 白 羽 出 張 所	消 防 署 白 羽 出 張 所	火 災 予 防	消防車による管内巡回強化。火災発生件数の減少を目指し市民へのさらなる意識高揚を図る。火災減少により環境へのCO2排出の抑制を図る。	13.気候変動に具体的な対策を 	火災件数は前年度の同じ時期に比べ約133%の増加件数であった。増加の因果関係は不明だが今後も、減少するよう巡回や広報活動に努める。年度目標は達成されている。	火災件数は前年度同じ時期に比べ58%の減少となった。年度の総件数は令和2年度が15件、令和3年度が12件と減少している。乾燥した季節の巡回広報の効果が出たと感じる。今後も減少するよう火災広報に努める。年度目標は達成できた。	◎
			火災によるCO2の発生を削減し、環境負荷の低減を図る。 また火災発生件数が多い季節に巡回を集中させる。 年間100回巡回				

# 令和4年度 エコアクション21 本来業務に即した環境取組目標

課名	事業・業務名・SDGS目標	取組内容	令和4年度目標
総務課	広報事業 	毎月「広報おまえざき」を発行し、住民に行政情報などを発信している。 令和4年度も、環境に関する情報を掲載することにより、住民に環境への興味関心を持ってもらう。 ●広報紙発行部数 10,000部／月 ●配布方法 町内会回覧及びコンビニエンスストアなどへ配架	広報おまえざきで環境に関する事項を1回以上取り上げる
企画政策課	移住・定住の推進 	新築住宅建築に対して補助金を交付し、最新の家具や家電の買い替えを促進することで、新エネルギー・省エネルギー機器の導入による環境影響負荷の軽減を図る。	定住促進住宅取得補助金交付件数: 80件
エネルギー政策課	新エネルギー・省エネルギー機器等の導入促進 	新エネルギー・省エネルギー機器を設置する者に対し補助金を交付することにより、環境への負荷の少ないエネルギーの利用を促進し、地球温暖化の防止及び資源の有効利用を図る。	補助件数 ・太陽光発電システム 41件 ・家庭用蓄電池 30件 ・太陽熱利用システム 3件 ・クリーンエネルギー自動車 12件 補助金の交付を受けて設置した機器等による二酸化炭素排出量削減効果 52,337kg-CO2
財政課	エコオフィスの実施 	・管理施設の節電等の啓発 ・課内のペーパーレス化の促進	①本庁・西館のデマンドが目標値を超えない。 ・本庁 180kW ・西館 115kW ②節電等の啓発 年2回以上(夏期・冬期) ③文書や資料の回覧・起案は、グループウェアや文書管理システムを活用し、紙での保存・印刷を最低限とする。 (プリンタを極力使用しない)
デジタル推進課	書類の電子化によるペーパーレス会議の推進 	書類の電子化により、会議での紙書類の削減を図る為、デジタル推進課の保有する「ペーパーレス会議用タブレット」の利用を各課に促すと共に、貸出件数を増やす。	①ペーパーレス会議用タブレットの利用に関する周知 年4回以上(インフォメーション) ②ペーパーレス会議用タブレットの貸出件数 前年度比20%増
税務課	税務・課税業務 	市民に電子での確定申告及び償却資産申告の周知を行い、電子申告の割合を増加させる。	【確定申告】 R3年分: 市確定申告会場での総申告数2,335件のうち電子申告数1,362件(58.3%)→R4年分申告のうち電子申告割合60.3%(2%増) 【償却資産申告】 R4年度分: 総申告数2,114件のうち電子申告数840件(39.7%)→R5年度分申告のうち電子申告割合41.7%(2%増)
危機管理課	災害対応備蓄品の管理 	各種災害(地震・津波、風水害、原子力事故等)の発生を想定し、市民が、安全かつ確実に避難できるよう計画を進める。 日常生活の中での、死亡事故(交通・労災・一般事故等)をなくす。	市内防災倉庫の備蓄品について、賞味期限が近いものについて70%以上の活用。
市民課	個人番号カード交付事務 	個人番号カード交付事務を通じて、各種証明書のコンビニ交付サービスや電子申請サービスを促進し、住民サービス向上を実現する。	○個人番号カード交付 交付枚数 年間1,700枚 交付率 47.0%  ○コンビニ交付サービス 各種証明書交付数 年間 2,000通
御前崎支所	窓口業務 	・環境に配慮した消耗品を積極的に購入する。 ・コピーの使用枚数を削減する。	グリーン購入の購入率10%以上 コピー使用枚数を3%削減

# 令和4年度 エコアクション21 本来業務に即した環境取組目標

課名	事業・業務名・SDGS目標	取組内容	令和4年度目標
環境課	清掃事業 	一般廃棄物の処理量を削減するため、事業者へ聞き取り指導を行ったり、収集運搬業者へ適切な運搬を指導したりする。 また、市民に対してもごみの削減をPRする。	一人当たりの一日のごみ排出量 前年度比マイナス1%
上下水道課	衛生環境向上 	・合併処理浄化槽の普及推進	・合併処理浄化槽71基設置 ・市の広報誌に普及推進記事を掲載 ・課窓口にてパンフレットの配布
福祉課	食品ロスを削減し困っている人たちに届ける  	フードドライブ事業を年2回市役所本庁舎、西館、各地区センター、社会福祉協議会において実施し、食品ロスを減らし、食べるものがなく困っている人たちに届くよう努める。	・年2回(8月、1月)に実施する。 ・各地区センターに協力を依頼し、多くの場所に回収箱を設置する。 ・合計400kgの食品の回収を行う。
こども未来課	予防接種事業 	予防接種の接種率向上に努め、子どもを病気から守り、健康に成長できるよう取り組む。	・定期予防接種の平均接種率90% ・新生児訪問、健診、相談の際に接種勧奨実施 ・接種勧奨実施(年2回)
高齢者支援課	介護予防運動指導士の養成 	介護予防のための運動を市民単位で普及するために、転倒予防教室を実施できるボランティア(介護予防運動指導士)を養成するとともに、介護予防の普及啓発に努める。	・1クール12回の養成講座を実施 ・介護予防運動指導士認定者総数255人
健康づくり課	自ら健康管理ができる環境づくり 	栄養、食生活、検診等の情報を通知、広報誌やSNS、音声告知等で市民に周知する	広報おまえざき 健康情報(年4回) 地産地消レシピ(年12回) がん検診等検診や保健指導の案内を通知する(胸部、婦人科、胃大腸、総合がん、肝炎、前立腺、骨粗鬆症、障がい者) 予防接種案内通知を発送 (新型コロナウイルス、肺炎球菌)
建設課	公共工事 道路工事  	建設工事等で発生する建設副産物の適切な処理の促進。	建設副産物が発生する工事において、工事請負業者との打ち合わせや現場立会等において、建設副産物の適切な処分及び再利用の呼びかけを行い、意識の高揚を図り、関連工事全てにおいて建設副産物が適切に処理されている状態を目指す。
都市政策課	安全・快適なまちづくりの推進  	・住環境の向上により住みやすいまちを目指す。 ・地震等による住宅の倒壊を防ぐために、災害に強い住宅づくりへの支援を行う。 ・空家の紹介による既存住宅の利活用を促進する。	・リフォーム支援事業の促進:目標74件 ・木造住宅の耐震補強の促進:目標7件 ・空家の利活用による解消:目標2件
管理課		公園の街灯をLED化し、消費電力を削減する	前年度のKwhを3%削減する。

# 令和4年度 エコアクション21 本来業務に即した環境取組目標

課名	事業・業務名・SDGS目標	取組内容	令和4年度目標
農林水産課	自然環境の保全 	市民組織と協働で飛砂防備保安林等の保全に取り組む。	海岸清掃 300人/年 植樹ボランティア 200人/年 海岸林整備58.3ha (薬剤散布55ha、堆砂垣3.3ha)
(企商工港観湾光室課)	海岸漂着物清掃事業 	海岸漂着物などの定期的な除去など管理を進め、美しい海岸を維持する活動を行う。	海岸漂着物などの定期的な清掃活動の支援を行う。 (月1回程度)
会計課	経理・検査業務 	経理・検査業務において、伝票の返却数と紙の使用量が多いため、伝票起案のチェックポイント等を職員に提示し、起票誤り及び紙の使用量を削減する	監督員研修会の実施 新規採用者へ起票事務説明会の実施 伝票起案のチェックポイント等を職員に提示し、起票誤りを削減する
議会事務局	会議の運営 	定例会、臨時会、委員会における資料内容の精査を行い、用紙使用量を削減する。	用紙使用量 88,300枚
監査委員事務局	監査業務 	監査資料の内容を精査し、印刷枚数を削減する。	用紙使用量 10,500枚
教育総務課	教育環境の充実  	児童生徒1人1台端末整備にあたり、グリーン購入法に適合する機器の導入を実施する。	令和4年度に購入予定のChromebookを、グリーン購入法適合の機器で260台購入する。
学校教育課	学校教育 	紙媒体での研修会等の案内や資料をできるだけ減らすようにする。	紙媒体での書類の発行を約300枚程度減らす。
社会教育課	①生涯学習講座 ②青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」   	①生涯学習講座は、市役所各課・地区センター等で企画募集しているが、情報を集約すること、紙資源削減のため、パンフレットにとりまとめる。 ②地域の方々へ地域資源や郷土の魅力を伝えることで、愛着と貢献意欲を育む。	①生涯学習ガイドブックの発刊 後期版8月配布 前期版3月配布 ②御前崎クエストの参加者 (キッズ:10名/ジュニア:55名/ユース:15名/ファミリー:8世帯)
図書館	13.気候変動に具体的な対策 	図書館で使われなくなった古い資料を可燃ごみとして処分しているが、資源を再利用できるよう、リサイクルイベントを実施する。	・イベント「リサイクル・ブック・フェア」を1回実施。 ・イベントにおける配布冊数…9,000冊 リサイクル配布率…70%
学校給食センター	残菜量の削減 	給食材料の適正な発注及び残菜量の削減	残菜量8,000kg以下

# 令和4年度 エコアクション21 本来業務に即した環境取組目標

課名	事業・業務名・SDGS目標	取組内容	令和4年度目標
池新田地区センター	貸館業務 	会合の見直し、時間短縮を図る 利用者へエコアクションについて啓発活動を行う	会議の見直し 冷暖房の適正な設定温度での使用
高松地区センター	エネルギーの保全 	地区センター利用者へ啓発活動を行い、一人ひとりの意識改革をし無駄なエネルギーを減らすことに繋げる。 ・資源の効率化や省エネの促進 ・電気をこまめに消し、使用時間を減らす。 ・クールビズ・ウォームビズの推奨	クールビズ 室温28℃ ウォームビズ 室温20℃ 待機電力カット・エアコンの適正温度を心掛け電気使用量を削減する
佐倉地区センター	貸館業務 	施設利用者へ環境取組の周知	エアコンの適正温度での使用 前年度比1%削減
比木地区センター	環境活動の啓発  	利用者が多くなるように各講座や教室の充実を図り、その中で多くの地域住民にエコアクションについて啓発活動を行う 会議の内容を見直し、時間の短縮、資料の簡素化を図る。	地区センター利用者の増加 地区センター利用者への啓発活動 会議の見直し
朝比奈地区センター	センター貸館事業 	○安心・安全で使いやすい地区センターにする ・日常清掃の実施(ゴミの分別、資源の有効活用) ・新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・消防法に定められた避難誘導訓練等の実施 ・地区センター敷地内の除草等の実施	・日常清掃:毎日始業前の清掃 ・新型コロナウイルス感染症対策:体温測定、手指消毒アルコールの設置、机・イス等の消毒の実施 ・避難誘導訓練:年2回の実施 ・敷地内除草等の実施:年9回の実施
新野地区センター	新野地区センター貸館事業 	○安心・安全で使いやすい地区センターにするため ・日常清掃の実施 ・定期清掃の実施 ・新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・消防法に定められた避難誘導訓練等の実施 ・地区センター敷地内の除草等の実施	・日常清掃:毎日始業前の清掃 ・定期清掃:月2回の定期清掃 ・新型コロナウイルス感染症対策:手指消毒アルコールの設置、机・イス等の消毒の実施 ・避難誘導訓練:年2回の実施 ・敷地内除草等の実施:年9回の実施
御前崎地区センター	センター貸館事業 	センター主催の会議、センター利用者へ電気、エアコンの消し忘れ、適正温度利用の呼びかけ。また、会議時間の短縮。	電気、エアコンの消し忘れの注意、エアコンの適正温度での利用を心掛ける。(啓発活動)
白羽地区センター	センターの施設管理 	地区センター利用者へ、張り紙や口頭での啓発活動を行い、冷暖房、照明等電気使用、水道、等無駄なエネルギー消費を減らす。	適正な設定温度での冷暖房使用、照明器具の適正使用の徹底を図り、電気使用量前年比2%の削減につなげる
池新田幼稚園	エネルギー消費 	電気、水道、ガスの使い方を再確認し、職員一人ひとりが意識して節電節水をする	・前年度比 1%減
高松幼稚園	エネルギー消費(電力) 	○職員一人一人が意識を持ち節電に取り組む ・目標の周知 ・毎月の使用電力・使用電力の報告 ・表示の徹底 ・園児や保護者への呼びかけ ・17時以降の仕事への取組み(早く帰る・職員室で仕事をする等)	・毎月の使用電力 前年度比1%減

# 令和4年度 エコアクション21 本来業務に即した環境取組目標

課名	事業・業務名・SDGS目標	取組内容	令和4年度目標
白羽幼稚園	エネルギー消費 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気・水道の使い方を子どもたちも一緒になって、意識していく。</li> <li>電気の使用量の周知を職員に行い、職員一人ひとりが意識して節電できるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー消費(電力) 前年度比 1%減</li> </ul>
白羽保育園	エネルギー消費(電力) 	園で使用している照明器具、エアコンなどの消費電力を抑制させる	前年度比の1%削減による二酸化炭素の削減
さくらこども園	リサイクル活動  	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気、水道の使い方を再確認し、職員一人ひとりが意識して節電節水をする。</li> <li>紙の使い方を見直し、無駄をなくしていく。</li> <li>リサイクル活動について保護者への周知の仕方を工夫し、昨年度よりも10%増を目標にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー消費 前年度比 1%減</li> <li>リサイクル収集 前年度比10%増</li> </ul>
北こども園	リサイクル活動 	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙の使い方を見直し、無駄をなくしていく。</li> <li>リサイクル活動参加へ、周知していくことで、ごみの排出量削減につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①リサイクル収集 前年度5%増</li> <li>②ごみの排出量削減</li> </ul>
御前崎こども園	保育・教育  	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの排出量、電気の使用量の周知を行い、職員一人一人が環境へ意識を持ち、生活できるようにする。</li> <li>資源回収の呼びかけ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①節電 前年度比0.5%減</li> <li>②リサイクルの実施</li> <li>③ごみの排出削減</li> </ul>
浜岡中学校	学校教育 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒への教育活動</li> <li>②資源リサイクル活動</li> <li>③学校施設管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教材用紙(ワークシート)、会議用紙等の削減</li> <li>②ごみの分別作業の徹底</li> <li>③電気使用量の削減</li> </ul>
御前崎中学校	学校教育   	資源回収活動や海岸清掃を通して、学校全体で環境への意識を高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Chromebookを活用して、生徒・保護者に配布する文書や職員の会議資料等を減らす。</li> <li>アルミ缶回収量2,000kg</li> </ul>
第一小学校	環境教育の充実   	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑の少年団活動による海岸清掃の実施</li> <li>総合的な学習の時間における環境教育、エネルギー教育の実施</li> <li>教員による節電・節水の呼びかけと実施</li> <li>アルミ缶回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやクラスルームを活用したペーパーレス化。</li> <li>エアコン使用料(ガス代)をR3年度比5%削減。</li> <li>リサイクルボックスの常設、アルミ缶回収による資源回収量のR3年度比5%増加。</li> </ul>
浜岡東小学校	紙使用量の削減とリサイクルの推進 	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷ではなく、PCデータによる周知の推進</li> <li>リサイクル紙(裏面白紙)の利用</li> <li>ミスプリントの削減</li> <li>リサイクル活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ホームページを活用したペーパーレスの推進</li> <li>エアコン使用量を抑えるための管理運用</li> <li>印刷用紙の使用量の削減 R3年度程度の購入量を目指す</li> <li>リサイクル活動の推進 R3年度並みを目指す</li> </ul>

# 令和4年度 エコアクション21 本来業務に即した環境取組目標

課名	事業・業務名・SDGS目標	取組内容	令和4年度目標
浜岡北小学校	教育事業 	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科、社会科、総合的な学習の時間等における環境教育、エネルギー教育の充実</li> <li>ごみの分別や処分にかかる費用や労力等についての学習。分別について各学級で指導。</li> <li>職員各自ごみの持ち帰り(職員)</li> <li>アルミ缶回収(地域貢献活動)の推進</li> <li>エアコン使用配慮し、使用を削減→電気代を節約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境やエネルギーについての意識を高め、生活の中で実践できる児童の増加</li> <li>学校から出すごみの量をR3年度比5%削減</li> <li>アルミ缶回収による資源回収量のR3年度比5%増加</li> <li>電気代をR3年度比5%削減</li> </ul>
御前崎小学校	学校教育 	全学級で環境教育へ取り組み、自分でできる環境にいい活動を考え、実行する。 紙使用量(購入量)を削減していく。ペーパーレスの意識を高める。	環境教育実施100% 紙使用量(購入量)前年度比2パーセント減
白羽小学校	学校教育 	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員及び児童への節電の呼びかけ</li> <li>資源回収の推進</li> <li>環境教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアコン使用の節電意識を高める。</li> <li>年3回PTA活動として資源回収に取り組む。</li> <li>授業や委員会活動を通して自分たちの身の回りの環境負荷を減らす取り組みを行うことで、環境への意識を高める。</li> </ul>
消防総務課	施設管理 	職員及び利用者へ節電の依頼	電気消費量を削減する 本庁舎 5%カット 157,000Kw/年 支所 10%カット 168,000Kw/年
消防本部予防課	火災予防・立入検査 	立入検査時に、事業所や危険物施設関係者に火災予防意識の高揚を図るため、指導や広報活動を行う。	火災減少によるCo2排出の抑制を図る。 立入検査 予防係 年間72施設 危険物係 年間72施設 火災件数 10件以下
消防署	火災予防 	消防車両による管内巡回強化。火災発生件数の減少を目指し市民に更なる意識高揚を図る。火災減少による環境へのCO2排出の抑制を図る。	火災発生件数が多い乾燥した季節に集中させ巡回する。年間100回巡回。
消防署白羽出張所	火災予防 	消防車両による管内巡回強化。火災発生件数の減少を目指し市民に更なる意識高揚を図る。火災減少による環境へのCO2排出の抑制を図る。	火災発生件数が多い乾燥した季節に集中させ巡回する。年間100回巡回。

## 7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### ○ 環境関連法規一覧

種別	法令等名称	関係分野	関係課・施設	遵守状況
環境全般	環境基本法	・環境施策全般の実施	全課 全施設	○
	循環型社会形成推進基本法	・循環型社会の構築	全課 全施設	○
	地球温暖化対策の推進に関する法律	・市役所における温暖化対策の策定 ・実施及び市民への働きかけ	全課 全施設	○
	気候変動適応法	・気候変動適応に関する施策(防災対策・農林水産業の振興・生物多様性の保全等)	全課 全施設	○
	食品ロスの削減の推進に関する法律	・食品ロス削減月間、フードドライブ、食品ロス削減に関する教育の実施等	全課 全施設	○
資源循環関係	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(「廃掃法」)	・廃棄物関連施策の実施 ・一般廃棄物処理業の許可関係 ・事務事業から排出される一般廃棄物の処理 事務事業から排出される産業廃棄物の処理	環境課 全課 全施設	○
	容器包装に係る分別収集及び商品化の促進等に関する法律(「容器包装リサイクル法」)	・廃棄物関連施策の実施 ・事務、事業から排出される廃棄物の処理	環境課	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(「自動車リサイクル法」)	・公用車の廃車時の環境配慮 ・購入、入替、車検時のリサイクル券購入	公用車所有課	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律(「資源有効利用促進法」)	・パソコン類の廃棄時の環境配慮	財政課 ほか	○
	特定家庭用機器再商品化法(「家電リサイクル法」 <small>「小型家電リサイクル法」</small> )	・庁舎等における家電製品の廃棄、リサイクル券の購入	該当物所有課	—
	特定物質の規制等によるオゾン層保護に関する法律	・冷凍空調機器類の簡易点検、定期点検の義務化、漏洩発見時の漏洩箇所特定、修理の実施、機器点検、修理やフロン類の重点、回収等の機器整備に関する履歴の記録、保存義務、算定漏洩量の報告、機器廃棄時のフロン類回収、破壊(行程管理票の交付) ※3ヶ月に一度点検(記録の保管)	機器所有施設 (財政課、教育総務課他)	○
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(「フロン排出抑制法」)			
	国等による環境物品等の調達の推進に係る法律(「グリーン購入法」)	・庁舎等における物品、サービスの購入、使用における環境配慮	全庁 全施設	○
	建設工事に係る資材の再資源等に関する法律(「建設リサイクル法」)	・地域における資材の再資源化の促進 ・公共事業における建設廃物の再資源化と再利用の促進 ・建設リサイクル法に関する届出受付	都市政策課 建設工事担当課 会計課(検査係)	○
	食品循環資源の再生利用等促進に関する法律(「食品リサイクル法」)	・食品残渣などのリサイクル	教育総務課 学校教育課 学校給食センター 各園 小中学校	○

種別	法令等名称	関係分野	関係課 関係施設	遵守状況
資源循環関係	プラスチックに係る資源循環の促進などに関する法律(「プラスチック資源循環法」)	・プラスチック廃棄物の排出の抑制、再資源化に資する環境配慮設計 ・ワンウェイプラスチックの使用の合理化 ・プラスチック廃棄物の分別収集、自主回収、再資源化	環境課 関係分野対象課	令和4年 4月1日 施行
公害対策関係	大気汚染防止法	・ボイラー等のばい煙発生装置(設備)の使用 ・ボイラー及び冷温水発生機の使用	教育総務課 学校教育課 学校給食センター	○
	水質汚濁防止法	・し尿処理施設を設置する特定事業場からの排水の水質基準	上下水道課 財政課 学校給食センター	○
	騒音規制法	・騒音を発生する特定施設の設置、使用 ・騒音を発生する作業(工事)の実施 ・騒音規制法に関する届出受付	環境課 建設工事担当課	○
	振動規制法	・振動を発生する特定施設の設置、使用 ・振動を発生する作業(工事)の実施 ・振動規制法に関する届出受付	環境課 建設工事担当課	○
	悪臭防止法	・悪臭を発生する特定施設の設置、使用 ・地域における悪臭の防止	環境課 学校給食センター	○
化学物質危険物関係	特定化学物質の環境への排出量の把握等管理の改善の促進に関する法律(「PRTR法」)	・有機塩素系化合物など特定化学物質の排出管理	財政課 上下水道課	○
	ダイオキシン類対策特別措置法	・ダイオキシンの排出抑制、管理(特定施設) ダイオキシン法に関する届出受付	環境課	○
	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(「PCB特別措置法」)	・PCBの適正な管理及び処理(処理計画の策定、県知事への届出)	施設担当課 (上下水道課他)	○ 保管中
	農薬取締法	・公園内樹木の防除	管理課	○
	農薬安全使用指針、農作物病害虫防除基準(県指針)	・公園内樹木の防除	管理課	○
	消防法	・市有施設等における石油製品(重油、灯油、ガス等)の大量貯蔵(大規模施設、スポーツ施設)	財政課 商工観光課 社会教育課 地区センター 消防署	○
	毒劇法	・保有する毒薬・劇薬・医薬品の適切な取扱い、保管及び施錠	該当物保有課	○
高圧ガス保安法 高圧ガス保安法施行令 冷凍保安規則	冷暖房装置(第一種、第二種高圧ガス製造施設)の管理	財政課 教育総務課 学校給食センター 消防署	○	
その他	水道法	・上水道事業の運営	財政課 上下水道課 学校給食センター 施設管理担当	○
	下水道法	・公共下水道事業の運営 ・公共下水道への排水	浄化槽設置施設管理部署 (上下水道課他)	○
	浄化槽法	・浄化槽の保守、水質管理 ・農業集落排水事業の運営 ・農業集落排水への排水	浄化槽設置施設管理部署 (上下水道課他)	○

種別	法令等名称	関係分野	関係課・施設	遵守状況
その他	計量法	・水道メーターの設置	上下水道課	○
	建築物における衛生的環境の確保に関する法律(「ビル管法」)	・建築物における衛生的な環境の確保	財政課 施設管理担当部署	○
	エネルギーの使用の合理化に係る法律(「省エネ法」)	・エネルギー管理指定を受けている公共施設におけるエネルギーの使用 ・特定事業者(エネルギー使用量原油換算 1,500kl 以上)の義務 ・エネルギー統括者及びエネルギー管理企画推進者の選任、解任届、定期報告書、中長期計画書の提出(毎月 7 月末)	環境課	○
	生物多様性基本法	・生物多様性の保全と持続可能な利用をバランスよく推進 ・上記基本原則にのっとった施策の実施 ・生物多様性戦略の策定努力義務	環境課 農林水産課	○
県条例等	静岡県生活環境の保全等に関する条例	・大気、水質、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下等に関する規定、規制(特定施設の管理、都市計画区域外の公共工事等)	環境課 財政課 建設工事担当課	○
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・産業廃棄物の適正な処理 ・産業廃棄物管理責任者の配置 ・産業廃棄物の実地確認 ・年に一度報告義務	全庁 全施設	○
	静岡県盛土等の規制に関する条例	・基準に適合しない土砂等を用いた盛土等の禁止 ・一定規模以上の盛土等の許可	都市政策課 環境課 関係分野対象課	令和 4 年 7 月 1 日 施行
市条例等	御前崎市環境基本条例	・環境施策全般の実施	全庁 全施設 環境課	○
	御前崎市環境基本計画	・環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進	全庁 全施設	○
	御前崎市環境保全対策審議会規則	・環境基本条例に基づき、組織及び運営に関し、必要事項を定める	環境課	○
	御前崎市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・廃棄物関連施策の実施	全庁 全施設 環境課	○
	御前崎市下水道条例	・下水道事業の管理、推進	上下水道課	○

1. 上記環境関連法規等の一覧表に基づき、遵守状況を確認・評価した結果違反はありません。
2. 環境関連法規への違反指摘及び利害関係者からの訴訟は、過去3年間にわたりありませんでした。

令和 4 年 3 月 31 日 環境管理責任者

## ○ 公害苦情件数

市民からの公害苦情の件数は次のとおりです。不法投棄についてはパトロールによる発見件数で、一般家庭から出される生活ごみが主です。また犬の放し飼いやフンの後始末、空き地の除草や野焼きによる煙や臭いなどの生活公害の苦情が多くを占めています。

市では良好な生活環境を継続的に確保するため、早期に苦情が解消できるよう当事者に理解を求めています。

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	野焼き	不法投棄	雑草	犬関係
平成21年度	0	2	1	0	8	24	193	10	6
平成22年度	1	5	3	0	2	23	138	16	7
平成23年度	2	2	1	0	4	22	89	12	12
平成24年度	3	2	2	0	6	13	77	11	13
平成25年度	4	2	2	0	7	10	81	18	2
平成26年度	0	3	3	1	6	9	59	33	1
平成27年度	0	2	2	0	2	8	90	17	2
平成28年度	0	3	4	0	1	3	84	18	5
平成29年度	2	5	0	0	7	9	123	11	3
平成30年度	1	5	2	0	5	9	68	11	3
令和元年度	3	7	2	0	6	13	106	9	2
令和2年度	0	2	3	0	12	20	48	21	16
令和3年度	4	0	4	0	5	9	51	19	15

## 8. 代表者(市長)による全体の評価

御前崎市では、平成24年2月からエコアクション21認証取得に向けた取り組みを開始し、平成25年3月4日付けで認証・登録を受けました。平成27年3月に図書館アスパル、学校給食センター、各公民館、平成29年3月に幼稚園、保育園、こども園、平成30年3月に、小学校・中学校・消防署、平成31年3月には市役所西館を認証・拡大しました。これで、病院を除くすべての部署でエコアクション21の取り組みを行う体制となりました。

最初はエコアクション21への取組みに、戸惑い等もあったと思われませんが、職員一人ひとりの意識も高まり、環境への負荷低減に向けた取り組みが日常化してきております。

さて、令和3年度を取組結果ですが、二酸化炭素排出量及び、ガソリン・軽油・重油・LPG使用量が減少しました。また、市役所庁舎等の公共施設において、太陽光発電設備設置や照明のLED化など実施しております。今回、未達成の目標については、さらに努力をお願いし、達成した項目におきましても、なお一層の省エネ、地球温暖化防止に努めていただくことを希望します。

令和3年2月には、ゼロカーボンシティ宣言をしました。市民、事業者と一丸となり、2050年CO2排出量実質ゼロを目指してまいります。「第2次御前崎市総合計画」の「子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎」と掲げた将来都市像を、環境面から実現するため「守ろう 豊かな自然 創ろう 次世代へつなぐまち 御前崎」という望ましい環境像の実現を目指し、市民の皆様とともに「オール御前崎」で推進してまいります。

令和 4年 6月 28日  
御前崎市長 柳 澤 重 夫





初版	平成24年11月22日
初版更新	平成24年12月27日
1版	平成25年 9月30日
2版	平成26年 8月31日
3版	平成27年 8月31日
4版	平成28年 8月31日
5版	平成29年 8月31日
6版	平成30年 8月31日
7版	令和元年12月10日
8版	令和2年11月 2日
9版	令和3年7月20日
10版	令和4年8月18日

御前崎市役所

エコアクション21

環境経営レポート

御前崎市役所 市民生活部 環境課  
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585 番地  
電話 0537-85-1162  
FAX 0537-85-1149  
E-mail kankyo@city.omaezaki.shizuoka.jp

